

## NORC ニュース

社団法人 日本外洋帆走協会

~~~~~

今年は、三月中に六月頃の暖かさの日が続いたと思つたら、四月中旬には大雪が降り、どうなることかと心配いたしました。その後案外平常の天候にもどり、良きヨットシーズンを迎えました。

本年の行事の大きな山ともみられていた太平洋横断シングルハンドレースも待受態勢を整える日の前夜に、予想どおり、フランスのTABARLY氏が、われわれの想像を遙かに上廻つたスピードで、第2位のTARLAIN氏を10日以上も引離してフィニッシュし、日本のヨット関係者をアツといわせました。しかもなお1隻は、現在日本に向つて航走中であつて、遠からずフィニッシュして、このレースは幾多の参考事項を残して終了する予定であります。

NORCの所属艇が1隻もこのレースに参加しなかつたことは、まことに淋しいことではありましたが、このレース以外の国際レース出場のため、東海支部所属の「CHITTA III」及び「GAMETUYA」がアメリカに着いており、別に「白雲」が世界一周航海の途上にあるなど、目覚しい活躍をいたしております。

また、NORCの会員や登録艇も、このところ特に急増し、前回の第20号ニュース発行の3月15日以来既に70名の会員と16隻の登録艇の増加をみました。まことにご同慶に存じますとともに新旧会員渾然一体となつて、ますます和やかなNORCを形成していただきますよう、会員の皆様に切にお願い申し上げます。

# 目 次

## I 本 部

1. 才1回太平洋横断シングルハンドレース ..... 1
2. 才3回八丈島レース報告 ..... 6
3. 本部連絡事項 ..... 10
  - (1) 44年度年会費の納入について ..... 10
  - (2) 準会員の正会員編入について ..... 10
  - (3) 新しい国際信号について ..... 10
  - (4) 英人マツケンジー氏の現住所のお知らせ ..... 11
4. よみもの「風」 ..... 11

## II 関 東 支 部

1. 「夏祭り」の開催について ..... 14
2. 1969年度才2回関東支部安全委員会議事録 ..... 15
3. 計測委員会 ..... 17
  - (1) レーティング一覧表について ..... 17
  - (2) 新レーティングの紹介 ..... 17
  - (3) 1969年度下半期計測実施計画 ..... 18
4. レース委員会 ..... 18
  - (1) 本年度才1回初島レース報告 ..... 18
  - (2) 才3回大島回航レース報告 ..... 22
  - (3) 才19回大島レース報告 ..... 28
  - (4) サマーシリーズ開催について ..... 32

## III 東 海 支 部

1. 会議の状況 ..... 34

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 2. 支部主催レース入賞艇 .....   | 35 |
| 3. 造船懇話会 .....        | 35 |
| 4. 小牧救難航空隊見学 .....    | 36 |
| 5. 「白雲」「チタⅢ」壮行会 ..... | 36 |
| 6. 「外洋帆走の夕べ」 .....    | 36 |
| 7. 「白雲」世界一周に出帆 .....  | 36 |

#### IV 京 都 支 部

|                |    |
|----------------|----|
| 1. 艇の登録 .....  | 37 |
| 2. 新人会員 .....  | 38 |
| 3. 艇の動向 .....  | 38 |
| 4. レース結果 ..... | 38 |

#### V 内 海 支 部

|                |    |
|----------------|----|
| 1. ランデブー ..... | 39 |
|----------------|----|

#### VI 西内海支部

|                  |    |
|------------------|----|
| 1. 別府レース報告 ..... | 40 |
| 2. 連絡事項 .....    | 41 |

#### VII 会員及び登録艇

|                     |    |
|---------------------|----|
| 1. 会員及び登録艇の現状 ..... | 42 |
| 2. 会員の異動 .....      | 43 |
| (a) 新入会員 .....      | 43 |
| (b) 住所又は勤務先変更 ..... | 49 |
| (c) 会員間の異動 .....    | 50 |
| 3. 新登録艇の紹介 .....    | 51 |

|               |    |
|---------------|----|
| あ と が き ..... | 53 |
|---------------|----|

## I 本 部

### 1. 第1回太平洋横断シングルハンドレース

才一回太平洋横断シングルハンドレースは6月6日現在、参加艇5隻の内、  
「PEN DUICK V」、「BLUE ARPEGE」、「MEX」の3艇がフィニッシュし、アメリカのJERRY CARTWRIGHTが途中棄権したほか、ベルギーのRENE HAUWEARTはマスト折損の後、サンフランシスコに自力でもどり、マストを新調して、4月11日に再スタートし現在航行中という状況である。

フィニッシュした3艇のレース状況はだいたい次のとおりです。

#### 1. ERIC TABARLY (フランス)

「PEN DUICK V」LOA 35 ft アルミスループ

フィニッシュ：4月24日 20時59分

所要時間： 39日 15時間44分

航行距離(約)：5,700 哩

平均速力：6 Knot

フランスのタバルリーはこのレースのため特に「PEN DUICK V」を設計した。全長35 ft、排水量3.2 ton の思い切つた軽排水型のこの艇はエンジンも積まず、ビームを広くとり、これをスターンまでいっぱい持つて行き、巾のせまい、アスペクト比の高い細長いフィンキールをつけ、スケグのついたセバレートラダーは、スターンのぎりぎりの所にまでもつて行つているというように、追手のブレーニング性能をねらつたことがはつきりしてゐる。

彼のコースも、したがつて、最初から南に下つて貿易風帯に早く入つてそれに乗つてできるだけ長く追手で走るという当初の見込み通りのものとなつた。

サンフランシスコから南下してKauai島の北5 哩に達した所で、ヘッドイングを西に取り、ここから23°の線に沿つて、貿易風をスターンからスターボードクォーターに受けて快走を続け、南鳥島北方から290°のコースでフィニッシュに向けて上らせた形になつた。

黒潮はさして問題にならず、城ヶ島の東南東150 哩位の所で、黒潮に乗つたと思われ

1日で60 哩も北にかせいだので、むしろプラスになつたようだ。

途中の時化は大したことはなく、前後3回20 m位の強風があつただけだつた。スタート後5~6日目に風速20 m位の向い風を受け、Kauai島の線で貿易風帯に入つた所で3日間連続20 m近い追手の風があり、日本近海で低気圧にぶつかり、やはり20 m位の西風にやられたようである。

Kauai島の西では3日間に600 哩を走り、日本近海でも南西風に乗つて13 Knotで快走したようである。当初タバルリーがサンフランシスコで40日間でフィニッシュすると記者団に語つたが、その推定所要時日を下回る、39日15時間、平均6 Knot という、予想以上の快ペースでフィニッシュし、優勝したわけだ。

自動操舵装置は舵のすぐ後の水流の乱れた所にトランサムの後部についていた為に十分の効率を発揮できず、特に追手の時には苦勞したそうである。

メインブームはブームグアング取り付け金具の所(ほゞ真ん中)からベンドしていたが、これは追手帆走の途中、ローリングした際、ブームエンドが海に入り、水圧のためベンドしたものとのことだ。

このほか、ポートバウの外板が凹んでいるが、これは浪によるパンチングのためとのことである。「PEN DUICK V」の外板はアルミで5 mmの肉厚のものを使用している。

「PEN DUICK V」は両舷に各々500 ℓ入るバラストタンクを装置しているがタバルリーによれば極めて効果的であり、強風の追手、上りともこれを常時使用したとのことだ。

なお「PEN DUICK V」の航海灯はアルミマストの中に配線され、マストヘッドに舷灯尾灯兼用の一灯があるという非常に効果的なものなのだが、スタート才一夜から配線の不備のためか、点灯せず、タバルリーはそのまゝ無灯で航海をした。最も、タバルリーは故障がなくても、外海に出れば航海灯は使用したことはないそうだ。

## 2. JEAN-YVES TERLAIN (フランス)

「BLUE ARPEGE」 LOA 30 ft FRP ½トン タイプ ストックボート改良型

フィニッシュ：5月5日 15時58分

所要時間：50日10時間43分

航行距離 (約) : 5600 哩

タバルリーと同じく、テルランも昨年度の大西洋シングルハンドレースに参加しているがこの時は全長35ftのElizabethan 35を使用していた。

今回は半トンカップの優勝艇である「ARPEGE」をシングルハンド用に改装した「BLUE ARPEGE」をデザイナー兼製造者であるMichel Dufour に提供してもらつての参加だつたが、全長30ftと、リミットよりかなり小さいため、艇速は「PEN DUICK V」「MEX」のいづれよりも小さかつた。

このためテルランは同じ南廻りのコースを引きながら、タバルリー程南下せず、貿易風帯の北側沿いに走ることによつて走行距離を短かくして勝つチャンスをつかむことを考えた。

Kauai島の線まで南下したタバルリーと違つて、テルランは当初27°の線から西に進路を変えることを計画したが、28°の線まで南下した時点で早くも優勢な貿易風(と思えた)をつかむことができたため、こゝで転針し、28°線沿いに西進する形となつた。

スタート後3週間目のこの時点で彼は7日間に1,070哩を走り、一日150哩平均、6knotの快ペースを維持し、一応最初の目論みが当つたことになつた。

しかし、この風もほんものではなく才3週以降は風にもそれ程めぐまれず、足が延びずに遅れてしまう結果となつたようである。

テルランは西経155°位の線まで28°線沿いに西進を続けた後、こゝからフィニッシュへ向つて305°のコースを引いた。

このコースでは太平洋高気圧の中を走ることになり、この時点でタバルリーの場合と違つて優勢な低気圧が通過しなかつたこともあつて、更に遅れてしまう結果となつた。

5月3日午前9時頃、城ヶ島の東南東約200哩の時点で、「BLUE ARPEGE」は才22...丸に発見され、同船より三崎の漁業無線局にこの旨連絡が入り、われわれにもこれが伝達され、フィニッシュ受け入れ態勢に入ることができた。

八丈島レースの最終フィニッシュ艇が入つたのが5月5日04時53分だつたが、コミッティーは引き続き「BLUE ARPEGE」のフィニッシュ受け入れのため城ヶ島灯台博物館にとどまつた。八丈島レース参加艇を悩ませた連日の行楽日和のため風は弱く、夜間のウォッチ態勢の検討を初めた頃、午後3時過ぎに、午後から吹きだした南西の風速15m

位の強風に乗り、赤いリーチングセノアを張つた「BLUE ARPEGGE」を確認した。

テルランは前夜すでに野島崎にとついていたのだが、微風のため前に進ることができず逆に潮のため大島寄りに西へ15哩位流され、午後の南西風をつかんでのフィニッシュだったが、昼ごろガスの中で、連休で大島へ出かけ帰路を急いでいた「PEN DUICK V」と偶然にも出会い、両艇前後して三色のフランス国旗をスターンにひるがえして城ヶ島沖を通るといふ、まさに「フランス太平洋に勝利す」の図となつた。

テルランはスタート才一週に他艇も出会つた風速20m位の時化にあつた以外は連日好天にめぐまれ、天測のできない日は一日しかなかつたそうである。

一日の最長走行距離は180哩。タバルリーと同じ自動操舵装置は、艇が小さかつたこともあつてか、全く申し分なく作動したそうである。ミジツブ、ドッグハウス上に固着した、両舷に張り出して、しかも引き伸ばし可能なブームを利用してのフォアセールの種々の張り方(ツインジブの観音開きカッターリグ等)は大変操作が容易で、かつ効率も良かつたとのことである、

ツインジブのクロスがうす過ぎたこと以外はトラブルも全く無く、極めて順調な航海だつたようである。

### 3. CLAUD HEHNER (ドイツ)

「MEX」LOA 35 ft 鉄鋼製スループワントンタイプ Optimist 改良型

フィニッシュ：5月7日 21時18分

所要時間： 52日16時間03分

航行距離(約)：5,000哩

ヘーナー氏も前二者同様、昨年度の大西洋横断シングルハンドレースに参加しているが、この時使用した同じ艇を再び使つての参加だつた。

但し、スタンダードのOptimistは全長37ftのため、スターンを2ft、切つて、リミットの35ft、にするなどの改造を加えている。

「MEX」は二年連続ワントンカップに優勝したRichard Carter設計のOptimistタイプであり、この大きさの艇としてはその性能は証明済みだが、タバルリーの思い切つた艇にくらべれば、特に追手の帆走ではかなり差をつけられると思われた。

そこでヘーナーは「PEN DUICK V」を相手にして勝つには大圏コースに近いコースを引くことによつて、走行距離を短かくすることを計画した。タバルリーの南廻りコースが約5,700哩の航程であるのに対して大圏コースは4,700~4,800哩位で済むことになる。

但し、南廻りが追手の順風を期待できるのに対して北廻りコースでは春といつても北太平洋では未だ冬の海に向うことになり、日本近海を通過して発達した低気圧に正面からいどむ形となる上に、黒潮にもさらうことになり、風向も殆んど上りといつた悪条件で走らざるを得ないので、かなり思い切つたギャンブルといえる。

しかし、「MEX」は上り性能では定評のある艇でもあるし、排水量も6.5tと「PEN DUICK V」の3.2tの倍もあり、荒天性能には自信があることなどからヘーナーはひとり北廻りコースを引いたわけだ。

才一週にヘーナーは早くも風速27~8mの時化にあい、しかも北西の真上りという悪条件のため、当初予定の大圏コースよりかなり南側へコースを落して走らざるを得なかつたようだ。それでもハワイ北方では北緯40°の線にまで北上したようだ。

引き続き上りの強風のためここから一端、38°線まで南下し、38°線沿いにしばらく走つた後、ミッドウェイ北方で再び大圏コースを引くため北上を開始した。この地点でマニラからロスアンゼルスの大圏コースを横切ることになり、ここでフィリッピン船籍の商船とすれ違つた。これは前にも後にも、ヘーナーが全航海中に会つた唯一の船とのことである。

日付変更線を横切つたのは4月11日だが、テルランは4月13日なので、この地点まではテルラン氏より先行していたわけだ。

しかし、この後、日本に接近する最後の航程でヘーナーは最悪の時化にやられた。

11日間連続して風力9~10mの暴風にたたかれ、自動操舵装置を波のため破損され、ストームジブも吹きち切れてしまつたためにビーブツを余儀なくされてしまつた。しかも激しい風と波にもまれている中にマストカラーの木材が割れてしまい、ここから水がキャビンに入り、キャビンは水びたしになつてしまつた。

天測は勿論不可能だつた上に、DFの方位アンテナが動かなくなり、DFによる位置確認もできず、最悪の状態だつたようである。

しかし、時化を乗り切つたヘーナーは犬吠崎にびつたりコースを引き当て、ランドフォー  
ルした。黒潮をさけるため沿岸沿いに南下し、5月7日の朝、勝浦灯台の北東7哩（城ヶ  
島より53哩）の所で、海上保安庁の巡視船に発見され、この旨、われわれにも連絡が入り、  
フィニッシュ受け入れ態勢に入つた。

最終コースは追手の微風となつたが本船航路上、城ヶ島沖でフィニッシュ直前に15m以  
上の突風に襲われ、スピンを取り入れるのにかなり苦勞をした上でのフィニッシュとなつた。

アメリカの Jerry Cartwright 及びベルギーの Rene Hauweart は他の各艇を  
襲つた、スタート後5~6日目の時化にやはりもまれ、Jerry Cartwright はポンク  
からほり出され、頭がい骨にヒビが入つてしまふ、重傷を背い、平衡感覚を失いながらも  
自力でハワイに入港し棄権した。

## 2. 第三回八丈島レース報告

帆走委員長 大儀見 薫

八丈島レースも本年で三回目となり、われわれの本格的オフショアレースとして完全に  
定着するようになった。

参加艇は別表の如く6隻で、最近の目を見張らせるようなクラスⅢ以上の艇の活躍ぶりか  
らすると若干物足りない気がする。昨年度の参加艇の内、「MIGRATOR」、  
「SEA WITCH」の US Navy 勢が今年は参加できず、代りにというわけではな  
いが、「智美」と昨年は香港一マニラレースに遠征のため参加できなかつた「MISS  
SUNBIRD」が加わつての6隻である。

レースコースは総会での決定の通り、小網代スタートになり、レース自体の面白さの点で  
も、運営上の面でも非常に良くなり、今後はこのコースで定着するものと思われる。

スタートはコースが延びて240哩位になつたこともあつて、昨年より1日早く5月1日  
の正午になり、このコースを走るに要する、BSFによる推定所要時間は最小艇の「はやま  
る」で57時間03分であることから考えると、タイムリミット（5月5日1800）

までの時間—102時間は少々過大かと思われなくもなかつた。しかし、結果的には微風レースとなり、最終艇のETが89時間弱となつたので、この位の余ゆりのあつた方が良いでしょう。

#### 〔気象・海象概況〕

昨年度の八丈島レースではスタート時（5月2日正午）には本州東海上に大きな高気圧が頭張つており、いわゆる行楽日和で風が丸一日無かつたのだが今年は西の方から高気圧が接近しつつあり、この高気圧のため連休一週間、一度も雨が降らなかつたという状況となり、レースの全航程がこの高気圧圏内で終るといふ、のんびりレースとなつた。

昨年度は低気圧がスタート二日目にレース艇を八丈島北方で襲つたのだが、これがほぼ予想されており、いつ西の方から天気がくずれるかが、レース戦略上のポイントだつたが、今度はこのように見通しもたはず東海の高気圧から吹出す東寄りの風が終りまで持続した。

黒潮は4月になつてから遠州灘沖に冷水塊が出現したため、潮流が大きく蛇行する形となり、活潑な動きをしていた。蛇行のパターンも安定するに致らず、東へ一日に約6哩位の速度で移動していると伝えられていた。したがつてこの蛇行の移動の仕方によつては伊豆七島沿いの潮は南向流となる場合もあれば、逆に北向流になつている場合も考えられ、全般に風が弱いことが予想されることもあつて、レース艇はコースの選定には苦勞したものと思われる。

#### 〔レース概況〕

レース艇はスタートから二手に分れてしまい、伊豆半島寄りの西コースをとつたのが3艇大島の東をほぼまっすぐ南下した東コースが同じく3艇と、丁度二分されてしまつた。

西寄りのコースは「潮風Ⅲ」「飛車角Ⅱ」「天城」の3艇、東は「MISS SUNBIRD」「智美」「はやまる」となつた。

西コースの艇は黒潮の流れをかなり重視し、直接南下したのでは逆流にさからう形となり北もしくは東方に流される可能性が大きく、これを避けて伊豆に取つき、むしろ伊豆南方で南向流に乗ることを計算していたのではないかと思われる。

一方、東側というか、直接、ほぼ最短コースを引いた艇は潮の影響はあまり気にかけず、東寄りの風を早くつかんで南下を急ぐ作戦だったと思われた。

結局、黒潮は大きく南に蛇行したまゝレース海域には殆んど影響が認められなかつた事と、高気圧が優勢で、西からの天気のおずれも無く、東寄りの艇は伊豆半島沿いに大きなベタに入つてしまい、直接南下した各艇に一昼夜の差をつけられてしまった。

しかし、風は全般的に弱く、むらがあり、直接南下した3艇も、それぞれ風の状況が違つていたようである。

「MISS SUNBIRD」は洲の崎までスターボードタックで行つたのが当つたと見えて良い風にめぐまれて、洲の崎から八丈島までワンタックで走り抜け、ここでは二番艇「はやまる」に10時間の差をつけてしまい、断トツだったが、帰路、三宅島東方で風に見離されて「はやまる」に逆に6時間も差を詰められて、優勝をさらわれてしまった。

帰路は「MISS SUNBIRD」だけが30時間以上、他艇はいづれも23～25時間で走つているので不運だった、といえる。

「はやまる」はマイペースで最も短いコースを引いて走り、出場最小艇ながら優勝。

「智美」は八丈島近くまで「はやまる」の近くに居ながら、八丈島廻航での大廻りがまづく、これが2時間の差となり、ついに「はやまる」を再びつかまえることができなかつた。

西にコースを引いた3艇は、1日の夜の時点ではむしろ東寄りの「MISS SUNBIRD」以外の2艇より先行した形で稲取の線に達していたのだが、2日の日は全くのベタ風となつてしまい、丸24時間かかつてもなお神津島の線を越えることができず、他艇がすでに八丈島を廻つている5月3日の朝には未だ神津島の南、三宅島の西に居たことになり、決定的な差がついてしまった。

「飛車角Ⅱ」はこゝで引き続き微風と、動きそうにない高気圧のためタイムリミット内のフィニッシュは困難と判断して、棄権を決定し、機走して帰つた。

「潮風Ⅲ」「天城」ともこの日(5月3日)の夜には八丈島にとりついていたのだから残念な話ではある。

第 3 回 八 丈 島 レ ー ス 成 績 表

4 4.5.1 ~ 5

| クラス | セール<br>No | 艇<br>名       | T. C. F | オーナー | 艇<br>長 | 石<br>積<br>の<br>鼻<br>270° | 小<br>網<br>代<br>-<br>石<br>積<br>の<br>鼻<br>所<br>要<br>時<br>間 | 石<br>積<br>の<br>鼻<br>-<br>城<br>ヶ<br>島<br>所<br>要<br>時<br>間 | 所要時間        | 修正時間       | クラス<br>順<br>位 | 総合<br>順<br>位 |
|-----|-----------|--------------|---------|------|--------|--------------------------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-------------|------------|---------------|--------------|
| II  | 380       | MISS SUNBIRD | . 829   | 山 崎  | 依 田    | 2日 2050                  | 3 2-5 0-00                                               | 3 1-3 4-03                                               | 6 4-2 4-03  | 5 3-2 3-18 | ①             | ②            |
|     | 606       | 智 美          | . 778   | 津 野  | "      | 3日 0900                  | 4 5-0 0-00                                               | 2 7-5 4-5 3                                              | 7 8-5 4-5 3 | 5 6-4 3-40 | 2             | ③            |
|     | 358       | 湖 風 III      | . 781   | 竹 下  | "      | 4日 0439                  | 6 4-3 9-00                                               | 2 4-1 4-30                                               | 8 8-5 3-30  | 6 9-2 5-28 | 3             | 5            |
| III | 614       | は や ま る      | . 751   | 立 松  | 山 下    | 3日 0655                  | 4 2-5 4-35                                               | 2 5-2 5-0 2                                              | 6 8-1 9-37  | 5 1-1 8-49 | ①             | ①            |
|     | 615       | 天 城          | . 752   | 渡 辺  | "      | 4日 0344                  | 6 3-4 4-00                                               | 2 3-2 6-1 9                                              | 8 7-1 0-19  | 6 5-3 3-12 | 2             | 4            |
|     | 610       | 飛 車 角 II     | . 762   | 名 和  | 周 東    | D. N. F                  |                                                          |                                                          |             |            |               |              |

総合 才 1 位「は や ま る」 高松宮杯及びNORC会長杯

### 3. 本部連絡事項

#### (1) 44年度年会費の納入について

本年度の年会費未納の方は至急納金願います。レースに参加の場合未納の方は非会員扱いになりますのでご了承ください。

|       |       |          |
|-------|-------|----------|
| 年 会 費 | 特別会員  | ¥ 10,000 |
|       | 正 会 員 | ¥ 3,000  |
|       | 準 会 員 | ¥ 1,000  |

納 入 先

現 金    N O R C 本 部

振 込 { 住友銀行虎の門支店 } 普通口座  
          日本勧業銀行虎の門支店

口座名    日本外洋帆走協会

(註) 関東支部所属会員は上記の年会費に「関東支部基金」¥ 1,000を加えること。

※ なお、年会費改訂前に旧料金を納入された方には差額を納付するようお願いしておりますが未納の方は至急納金願います。

#### (2) 準会員の正会員編入について

定款の改正により、満20才に達した準会員は所定の手続きにより正会員に編入しなければならないこととなりましたので、各支部において手続きの促進につきご協力をお願いいたします。

切換へについては、NORC組織及び運営規程により、正会員としての入会金及び年会費を納入して貰うこととなります。

#### (3) 新しい国際信号について

NORCニュース第20号でお知らせしましたように、国際信号書が全面改正されて本

年の4月1日より実施されています。

NORCも、前号に引続いて、国際信号書抜萃を少しづつ掲載する予定でありましたがバラバラに掲載するよりも、まとめて1冊にした方が、利用価値が高いので、ただいま編さんを始めましたので、ニュースへの掲載はとり止めました。

(4) 英人マッケンジー氏の現住所のお知らせ

NORCが今日の隆昌を招く基礎となつた1953年のC. C. J. 時代に、よき指導者であられた英人マッケンジー氏のご住所が、“月光Ⅱ世”久保田オーナーのご尽力により、このほど判明いたしましたのでお知らせします。

旧知の方はお便りなど、どうぞ……………

( 麻 里 記 )

MR. A. A. MACKENZIE

A PARTADO 136. DE CORREOS MAHON.

MINORCE. SPAIN.

4. よみもの 「風」 (つどき)

(3) 夏 の 風

一般の人達に風が一番歓迎されるのは、なんといつでも夏の季節である。そのために、夏の風に対する呼び名には、他の季節以上に沢山のものがあり、親しみのある呼び名も多い。学問的にいえば、夏の風は南方洋上の高気圧帯から大陸の低気圧帯に向つて吹き込む東又は南東の季節風である。この南よりの風のことを「みなみ」と呼び、これが強烈になると「大みなみ」といわれて夏の代表的な風の呼称である。この「南風」即ち「みなみ」も、所によつていろいろに呼ばれているので、順を追つて書いてみよう。クルージング中の油凧のつれづれに思い出して貰えれば幸甚である。

×

×

「はえ」は漢字では「南風」である。即ち「南風」のことを「みなみ」とも「はえ」とも呼び、又所によつて同じ風を「まじ」または「まぜ」という所もある。

「はえ」には真南から吹く「正南風（まはえ）」と、東よりになると「南東風（はえごち）」西よりになると「南西風（はえにし）」と呼ばれるものがあり、余り強くない柔い風であるので、船乗たちに喜ばれる風である。しかし5月末から6月頃に雨を伴つた南風が吹くが、これを「黒南風（くろばえ）」という。これと対称して、梅雨雷が鳴つて梅雨があけ、又南風が吹き始めるが、この南風を「白南風（しろはえ）」と呼んでいる。

「まじ」または「まぜ」と呼んでいるのは、瀬戸内を中心に、四国および九州の東岸にかけての地方である。

また、台風が近づいている時、雲裾が渦を巻いて乱れ、雲脚も早く、高温多湿のため、じつとしていても汗がにじみ出てくるような日々に吹く、南東からの強い風のことを「やまじ」と呼んでいる所もある。矢のような「まじ」であるというのできた名であつて、日本語としても蘊蓄のある言葉であると思う。

×

×

また、青森から北九州にわたる裏日本方面に、いい慣らわされている「ひかた」という風の呼び方がある。これは日のある方から吹く風ということで、南東、南、南西の風をいう。だいたい漁民に喜ばれる穏やかな風であるが、青森県の下北半島など、地方によつてはこの陸よりの風がやがて雨を降らせて、強風に転ずることもある。帆船時代にはこの風に乗つて北へ下つて行つたので「ひかた」のことを「くだり」と呼んでいるところも多い。同じこの地方で「ひかた」の逆の風、即ち東風から北東、北、北西の風のことを「あえの風」又は「あいの風」という。もちろん季節も4月から8月頃までの風であつて、この風も暴風、烈風をいうのではなく静かなそよ風をいう。仲実朝臣に「越の海あゆの風ふくなごの海に舟はとどめよ浪枕せむ」と詠まれている歌からも「あゆの風」即ち「あいの風」の質が想像できよう。土用に吹く「あい」を「土用あい」とも用いている。

5.6月ごろの、日本海の冬の季節風が弱まる時分に、三陸沖に根を据えた高気圧が、山を越えて日本海方面へ吹き出す寒冷な風を「やませ」即ち「山瀬風」という。

この寒冷な風のために、漁獲を妨げられたり、農作物が冷害を被るために嫌われている風であるが、帆船の人達からは順風として歓迎されていたものらしい。また越後を中心とした裏日本の農山林には「だし」という名の風があつて本州の背梁山脈を越えて吹きおろす気節風のことで風速も早く、熱気を運び、極度に乾燥しているため、樹木をいためるのみでなく、フエン現象を起して、大火の原因になるのがこの「だし」である。「だし」は山から海へ吹き出す風であるから、地勢によつてその方向はまちまちであり、太平洋岸では、北風のことを「だし」というところもある。静岡地方では土用が過ぎるとこの「だし」も強くなつて恐ろしい風であるといわれている。「だし」の語源は、陸から海へ吹く風のことで、帆船を出港させるのに良い風であるから「だし」と呼ばれるようになったといわれる。

×

×

梅雨の前後には、東南よりなま暖かい風が吹くものでこの風を「たつみ風」ともいうが「いなさ」と呼び関東では、上越の雪を解かし、そのため利根川の水が増すばかりでなく、豪雨を伴うことがあり、水害の原因となる風として怖れられている。帆船時代にはこの風は南の海より吹き寄せる大浪のため、遭難の最も多い風として船乗たちも恐れていたという。伊豆半島の東岸では「いなさ」は南東の風のことであるのに、下田で「いなさ」というのは南風のことであつて、地域によつて風向に多少の差があることが認められる。また陰暦5月に吹く東南風のことを「黄雀風」と呼ばれることも知つてよからう。即ちこの頃は、海の魚変じて黄雀となるという中国の俗説から来た呼び名であろう。

×

×

風向に関係なく夏の風の呼び名には「薫風」「青嵐」「湿風」「熱風」などがある。これは吹いている風の性質によつて名づけられたもので、青々とした樹海や草原を吹く風が「青

嵐」であり、暑苦しい肌に心地よく触れる風のことを「薫風」といつて、親しまれているのである。もちろん、風そのものが薫らなくとも、薫るように快い風と感じたものである。

「湿風」は夏の末頃に吹く、いまにも雨になりそうなあたたかい風であり、フェーン現象の時吹く乾燥した暑い風は「熱風」といわれている。

×

×

夏の風は親しまれている丈に、無風即ち「凧」になると、その影響も大きく従つて凧に対する関心も大きいので、凧に対しても、「土用凧」「朝凧」「夕凧」「油凧」などの名が与えられて、関心の深さが示されている。夏の凧ほどヨットマンをじたんだ踏ませるものはない。

## II 関東支部

### 1. 「夏祭り」の開催について

関東支部主催1969年度NORC夏祭りを、次の通り行います。

前夜祭：8月2日（土）1930～

海上カーニバル：8月3日（日）1100～

於、シーボニアヨットクラブ

昨年度は、台風下にもかかわらず、大勢の海国男女が参集し、極めて賑やかで楽しい集いとなりましたが、今年は更に一層の趣向を凝らして、より充実したものにしたいと計画中です。

特に、今年新しくNORCのメンバーに加わられた方々の歓迎を中心に、各艇は出来る丈海上より参加して頂き、シーボニアの岸壁をNORCの精鋭艇で埋めつくし、その偉容を誇りたいと思いますので、皆様のご協力をお願いします。

なお、当日は鳥羽レースの翌週の土、日に当たりますので、他支部の会員の皆様の参加を大いに歓迎致します。

行事としては次の様なものを企画中ですが、奇抜で楽しいアイデア等ありましたら、何卒N

ORC本部迄ご連絡下さい。

前夜祭：表彰式、新人紹介と洗礼式、呑み放題大パーティー

キャンプファイヤー、花火

ショーボート（バンド出演、フリート対抗かくし芸等）

海上カーニバル：デコレートドヨットによる大パレード

ミスNORCコンクール

フリート対抗仮装コンクール

海上運動会（テンダー沈め競争、マスト早登り、水中綱引き、ミニミニオーシャンレースその他）

なお、当日は記念品、賞品等沢山用意しておりますから、ご家族、恋人ご同伴で盛大にご参加下さい。

会費は、大体昨年と同程度の予定です。

## 2. 1969年度第2回関東支部安全委員会議事録

日 時 1969年3月26日（水） 1800～2130

場 所 船舶クラブ会議室

出席委員（敬称略す）

名和（総務委員長）、大儀見（本部総務委員長）、横山、近藤、飯島、高野  
山下、永江、千葉、熊沢、古河内、武田、岩田（代）、福永

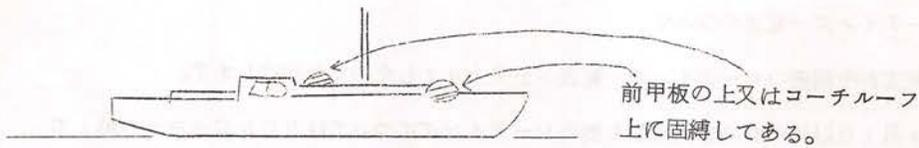
議事内容

- I 関東支部安全委員長交替の件報告：3月19日（水）関東支部常任委員会に於て、本年度支部安全委員長 福永昭 選任
- II 3月6日 第1回安全委員会議事録 IV-1「ライフラフトの置き場所」についての結論 (1)~(4)に対し、関東支部常任委員会に、“RED SHARK”関根久氏の私見が提出されているので、この問題について再検討を行った。
  1. “RED SHARK”の安全検査を行った飯島征委員の報告：ライフラフトはコクピット内に設けられた専用の凹みに格納してあり、置き場所として使用上差し

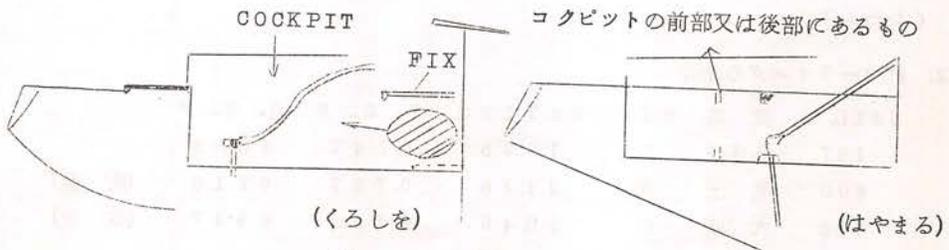
- 支えないと思う、検査時には蓋はなかつた、凹み自体はセルフベイレングではない。
2. 永江委員より、安全検査は規則により客観的に判断出来るようにあつて欲しい、なるべく検査員各自の判断によらずに判定出来る規則であるべきだ。
  3. 大儀見：安全規則は安全の面と同時に、レースに際し各艇同一条件を与え、公平にレースを行う目的がある。艇の帆走性能に影響を与える条件は同一でなければならない。
  4. 福永：良いアイデアは殺さずに更にプラスの方向にもつていくべきだ、RED SHARKの案が、若し好ましくないなら、コクピット底に、水密のふたを設け、而も瞬時にふたが外せて、ライフラフトがすぐ取出せるような工夫が出来れば問題はないと思う。あまり細かく規則で定めるより、オーナーの責任と判断に、ある程度以上はまかせてしかるべきだと思う。
  5. 横山：本年一年を研究期間として全般的に安全規則を改訂したら良いと思う。  
尚規則改訂委員として近藤禎之氏にお願いしたい。

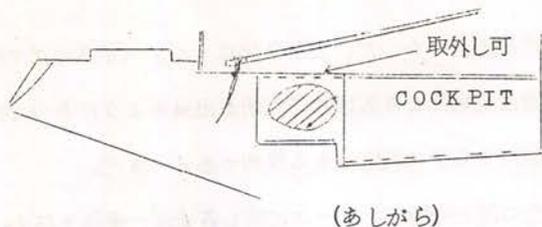
上記の如き意見により本年総会迄に結論が出るよう、規則改訂にとりかゝることとなつた。

◎〔追記〕 4月の関東支部常任委員会においては、本年度の統一見解として、「ライフラフトは艇内に置かないことを原則とする」こととなつた。

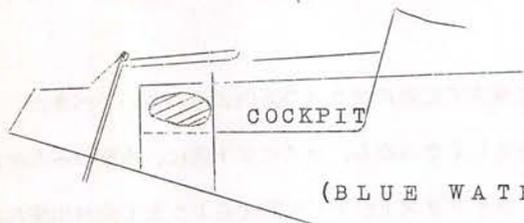


(ライフラフト積込みの規則制定前に建造された艇及び特に置場を設けずに設計された艇)



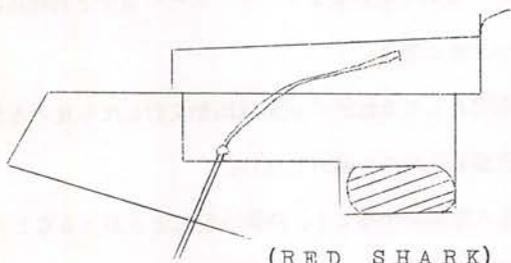


(あしがら)



ライフラフト専用のハッチ内に置いてあるもの

(BLUE WATER 24, 智美)



コクピットの底に専用の凹みを設け格納してあるもの

(RED SHARK)

### 3. 計測委員会

#### (1) レーティング一覧表について

関東支部所属艇のレーティング一覧表が出来上りましたのでお届けします。

4月1日以降に計測を実施した艇のレーティングについてはNORCニュース紙上で御紹介しますので会員各位においてレーティング一覧表に御記入下さい。

尚、関東支部以外の支部所属艇のレーティング一覧表は現在、作成中ですので、しばらくお待ち下さい。

#### (2) 新レーティングの紹介

| SAIL. No | 艇名  | RIG | RATING | T. C. F | B. S. F |      |
|----------|-----|-----|--------|---------|---------|------|
| 197      | あさひ | S   | 19.95  | 0.747   | 688.8   |      |
| 600      | 竜王  | S   | 21.76  | 0.767   | 671.0   | (新艇) |
| 615      | 天城  | S   | 20.46  | 0.752   | 683.7   | (改造) |

(3) 1969年度下半期計測実施計画

1969年度下半期(7月~12月)の計測実施日及び計測担当者は、次の委員及び助手に決まりましたので、お知らせします。

|       |    |         |
|-------|----|---------|
| 7月13日 | 国松 | 関根 (照久) |
| 8月17日 | 林  | 横山      |
| 9月14日 | 今北 | 番井      |
| 10月5日 | 国松 | 斎藤      |
| 11月9日 | 林  | 関根 (照久) |
| 12月7日 | 今北 | 横山      |

(周東記) 44.5.28

4. レース委員会

(1) 第1回初島レース報告

帆走委員長 落合公平

- 日時 1969 4.5~6
- コース 小網代-初島 (反時計廻り) 約48哩
- 参加艇 23 参加人員 130  
内 訳 II級 4 29  
III級 9 54  
IV級 9 43  
V級 1 4

4. 経過

前日來の低気圧の波状攻撃に帆走委員はレース決行を懸念したが、出艇申告時の天気予報は高気圧の張り出しを報じ、本部のバロメーターは急速に上昇を始めたので先行き安定を想定して特に第2回艇長会議も行わずレース開始を決めた。

スタート時既に空は晴れ上つたが強力な高気圧周辺の吹き出しはスタートライン上にNE10~15mを送り込み、未だ前日來の雨よりのうねりも残つて居た。定刻1800

先づⅣ、Ⅴ級スタート、各艇気負立つて一斉に風上側（コミテーパート寄り）に殺到し、  
此の中で2艇630号と394号がフライング、直ちにリコールしたが内一艇394号が  
不適当な反転をしたため遂にトラブル、「朝風」（322号）と接触、其のハルを削る  
こととなり、更に後続する艇群の針路を妨害する結果となつた。然し其の他の艇は順調  
に滑り出し、夕映えの中に十数分にして溶け込む、2艇が数分後 スピンを上げるのを  
望見したが一はブローチングし、他も直ちに取り込む。後1時間はスピンを揚げ得る風  
力ではなかつた模様、1830Ⅱ・Ⅲ級のスタートは風稍々弱まり、東に振れ始めた中  
をスムーズにオールクリアー、Ⅳ・Ⅴ群を追うも既に夕闇迫り前走群の姿なし、

2100報導艇「Lotus」より一信、風力更に落ちNNE7.8m波高4.50mとの報  
告後1時間毎に無電を受け各艇の状況は本部で手に採るよう把握出来る。各級共初島  
直前迄は殆んど集団で同一コースを引き其の半数はスピンをういたが、トラブルを起す  
もの多く、又使用したものが必ずしも成績に有効であつたとは云えない結果を示す。伊  
豆寄りに近づくにつれ風力急速に落ち、風向の乱れ、潮に悩まされ島周辺海域に於ける  
操艇が大きく勝敗の転機となつたことは例年の通り、殆んど前後して僅かに30数分の  
差で一斉に2200台に島を回り、帰路は各々向い風のしり性能の勝負となつた。

或るものは一直線に東航、他は大きく南北にタツキングを繰返し、又は小刻みヂグザグ  
と思ひ思ひに其の航程海面は広く開き暗夜に他艇を見るもの少かつた。優勢な高気圧に  
もかかわらず張り出し初期のためか或は其の気圧傾斜の大きさによるためか、風は終始好調  
にNNE・NE・ENE10m前後が得られスピードあるレース進展となつた。無電連絡  
で本部全員待機する中に0300前後、点々と小網代沖に紅緑灯が見え始める。――  
数艇交錯してセールNo、受信03h27m50s「くろしおⅡ」ファーストホーム、  
完全優勝、続く「ミスサンバード」はフィニッシュ直前いけす群に突入タイムロス、  
「飛車角Ⅱ」「レッドシャーク」と数分間隔で13艇が入る。トップグループは総てⅡ・  
Ⅲ級新鋭艇の占める中に「もさⅢ」「竜飛」の2艇のⅣ級が光る。一時フィニッシュとき  
れ約1.5時間の間を置いてⅣ級が又数分ピッチで入るが唯一のⅤ級「朝風」が見えず約一  
時間気をもませたが敢闘の末0752無事入りレース完了、回航後、帰路のコースミスに  
依る「朝風」の遅れは惜しいが、あの強風中を小つぶ乍ら良く頑張りを抜いた。優勝杯オリ

ンバスカップは「くろしおⅡ」の手中に帰した。

スタートトラブルの起因となつた「メルジネ」に就いては対艇「朝風」よりの口頭に依る抗議受け、「メルジネ」艇長よりの事情聴取の結果帆走委員は不適当なスタートで他艇に損傷を与え、又危険なる進路妨害を行つたものと認め、“レースと雖ども安全操艇を優先する”NORO精神に反するものとしてこれを失格とする。

フィニッシュラインのコミテールポート位置不適に依り一部の艇に迷惑を及ぼしたことをお詫びします。

終始御援助戴いた海上保安部に深甚の感謝を申し上げます。

又通報船の役目を担当して戴いた「ロータス」艇長並びに乗員一同の方々御苦勞様でした。

44' 4. 8

### 才 1 回 初 島 レース 会 計 報 告

帆走委員長 落 合 公 平

| 収 入         |           |  |          |
|-------------|-----------|--|----------|
| 出 艇 申 込 料   | 28隻×2,000 |  | 56,000円  |
| 申 込 遅 延 料   | 2隻×2,000  |  | 4,000    |
| 会 員 参 加 料   | 94名×1,000 |  | 94,000   |
| 非 会 員 参 加 料 | 13名×3,000 |  | 39,000   |
| 合 計         |           |  | 193,000円 |

| 支 出                      |  |  |         |
|--------------------------|--|--|---------|
| 本部運営費（食費、交通費等）           |  |  | 18,300円 |
| 才1回艇長会議借室料               |  |  | 2,100   |
| シーボニア借用料（会議室、ハーバー）       |  |  | 5,000   |
| テンダー借用料                  |  |  | 3,000   |
| 電話料（特設料¥3,860 度数料¥1,030） |  |  | 4,890   |
| 印刷費（帆走指示書、出艇表等）          |  |  | 1,500   |
| 消耗品代（乾電池、用紙、名札他）         |  |  | 2,420   |
| コミッテールポート雑費              |  |  | 2,000   |
| 合 計                      |  |  | 39,210円 |

差 引 残 153,790円

44' 4. 8

第一回初島レース成績表

4 4 . 4 . 5 ~ 6

| クラス | セツル          | 艇名           | 名    | T.C.F | オーナー  | 艇長         | 所要時間 (B. T) | 修正時間 (C. T) | クラス順位 | 総合順位  |
|-----|--------------|--------------|------|-------|-------|------------|-------------|-------------|-------|-------|
| II  | 606          | 智美           | 美    | .778  | 野     | 林          | 9. 18. 40   | 7. 14. 39   | ①     | 5     |
|     | 380          | MISS SUNBIRD |      | .829  | 津山    | 依田         | 9. 01. 19   | 7. 28. 45   | ②     | 9     |
|     | 188          | CONTESSA II  |      | .770  | 石原    | "          | 10. 02. 59  | 7. 47. 55   | 3     | 12    |
|     | 355          | LOTUS        |      | .794  | 金原    | "          | 10. 20. 40  | 8. 12. 53   | 4     | 15    |
| III | 613          | くろしお II      |      | .751  | 中島    | 北沢         | 8. 57. 50   | 6. 43. 55   | ①     | ①     |
|     | 616          | RED SHARK    |      | .746  | 関根    | "          | 9. 07. 35   | 6. 48. 30   | ②     | ②     |
|     | 614          | はやまる         |      | .751  | 立松    | 山下(新)      | 9. 13. 24   | 6. 55. 36   | ③     | ③     |
|     | 610          | 飛車角 II       |      | .762  | 名和    | "          | 9. 07. 10   | 6. 56. 56   | 4     | 4     |
|     | 615          | 天城           |      | .754  | 渡辺    | 山下(精)      | 9. 51. 20   | 7. 25. 52   | 5     | 7     |
|     | 164          | さがみ II       |      | .741  | 飯島    | "          | 10. 04. 22  | 7. 27. 50   | 6     | 8     |
|     | 622          | 雲仙           |      | .757  | 反田    | 辺生         | 10. 12. 24  | 7. 43. 35   | 7     | 11    |
|     | 357          | NEPTUNE IX   |      | .746  | 古屋    | 柳生         | 10. 27. 44  | 7. 48. 17   | 8     | 13    |
| 323 | CHRISTINA II |              | .771 | 福山    | 福山(美) | 10. 09. 50 | 7. 50. 11   | 9           | 14    |       |
| IV  | 366          | もさ III       |      | .710  | 守屋    | "          | 10. 23. 30  | 7. 23. 41   | ①     | 6     |
|     | 629          | 竜飛           |      | .707  | 岩瀬    | "          | 10. 49. 38  | 7. 39. 17   | ②     | 10    |
|     | 602          | 桜工           |      | .701  | 柴田    | 井瀬         | 11. 49. 42  | 8. 17. 30   | ③     | 16    |
|     | 618          | だぼはぜ II      |      | .701  | 土屋    | 村瀬         | 11. 51. 20  | 8. 18. 39   | 4     | 17    |
|     | 630          | J O U R      |      | .708  | 鈴加    | "          | 12. 04. 15  | 8. 32. 46   | 5     | 18    |
|     | 608          | 明日香          |      | .702  | 加藤    | "          | 12. 20. 17  | 8. 39. 41   | 6     | 19    |
|     | 346          | S U N G O    |      | .701  | 鳥飼    | "          | 12. 40. 45  | 8. 53. 17   | 7     | 20    |
|     | 317          | MAUPTI II    |      | .714  | 岩田    | "          | 12. 28. 58  | 8. 54. 46   | 8     | 21    |
| V   | 394          | MELUSINE     | 風    | .731  | 武部    | 永江         | 12. 16. 33  | 8. 58. 25   |       | D S Q |
|     | 322          | 朝風           |      | .700  | 朝比奈   |            | 13. 52. 03  | 9. 42. 26   | 9     | 22    |
|     | 358          | 潮風 III       | 柄丸   | .781  | 竹下    | 永          |             |             |       |       |
|     | 617          | 足竜丸          |      | .745  | 福森    |            |             |             |       |       |
| 305 | 竜王           |              | .743 | 崎     |       |            |             |             |       |       |
| 389 | NADJA II     |              | .701 | 白     |       |            |             |             |       |       |
| 630 | SAMOA I      |              | .687 | 大石    |       |            |             |             |       |       |

総合第1位「くろしお II」.....オリエンパスカッツ

D. N. S

## (2) 第3回大島回航レース報告書

帆走委員長 向井七男也

### 1. 全 況

第3回大島回航レースは、4月26日(土)1000小網代スタート、大島反時計廻り直線68哩のコースにて、申込17艇内3艇DNS、出走14艇で行われ、天山杯は昨年来好調を続ける「RED SHARK」が獲得した。

レース海域は南海上に停滞する前線に吹き込むNEの風が終始5~12mでほぼコンスタントにあり、波も比較のおだやかであつたため、スタート後、12時間余りの記録的な早さで、「MISS SUNBIRD」がFIRST HOMEしたほか、最終艇の「SUNGO」も翌27日0220にはフィニッシュし、全艇無事にレースを終ると云う極めてスピーディーなレースで行われた。

### 2. 気 象

前25日夜半には前線を伴う低気圧が南下、伊豆半島を通過したため、関東近海には強風波浪注意報がだされ大島附近ではSWのブローが15m以上も記録され、又、各所に霧が発生、全般に視界は1,000m以下という悪条件であつた。

スタート直前も、前線は依然停滞気味で、NNE8~10m小雨まじりの曇天ではあつたが時あたかも前々日には「太平洋単独横断レース」のトップ艇「PEN DUICK V」が城ヶ島にフィニッシュし、その総アルミ製35呎のブレーキングデインギーとも云うべき姿を油壺に見せていたため、各艇のレース意欲は益々高まり、かつ、前夜の注意報も26日0350には解除され、レース本部のバロメーターも上昇傾向を示していたため、0800の艇長会議でレース決行を決定した。

レース当時の海況は大島附近で一時的に無風及び異常波高が見られた他は、全般にNNE~ENE7~10mの風で波も比較的小さく又黒潮もあまり強くなかつたために殆んど全艇がスピンドルで南下、帰路も軽いクロスホールド一本で北上と云う直線的コースを取り得たことが前述のハイスピードのレース展開をもたらした。

### 3. スタート

0830、スタートライン設置完了の頃には、NE風も約6mに弱まり、かつ、小網代湾口は山かげとなつたため、波は殆んどなく、1000ラヂオ時報と共に全艇クリヤスタートした。先づトツプでとび出した「もさⅢ」に続いて「くろしおⅡ」はスタートライン通過と同時にスピンを展開すると云う見事なセールハンドリングを見せた。「はやまる」は基地よりの廻航に手間どり約50秒スタートに遅くれたが、持ち前のフアイトでたちまち先頭集団に追いついた。

この後、小網代湾口の大謀網の北をぬけた「雲仙」「足柄」、大たんにて180°のダイレクトコースをとつた「MISS SUNBIRD」「くろしおⅡ」、黒潮を警戒して一旦約240°のコースをとつた「RED SHARK」「智美」「SIRENA」の三グループに別れたが間もなく一団となつて南下し美しいスピンの群れはコミッターの視界から消えて行つた。

### 4. レース展開

スタート後、東コースのグループは、出足よく「MISS SUNBIRD」を先頭に、「もさⅢ」「足柄」「雲仙」「OLYMPUSⅢ」が後に続き、かすかに西にカーブしたオーソドックスコースには「RED SHARK」「はやまる」「SIRENA」「だぼはぜⅡ」が快調にとばし、そのすぐ西コースには「智美」「くろしおⅡ」「MELUSINE」「竜王丸」が殆んど差もなく南下を続けた。

1400頃、先頭の「MISS SUNBIRD」先づ大島につつかけた。やはり、黒潮の東流により全艇共東に2m位流され、岡田の北から乳ヶ崎を目指した。

「MISS SUNBIRD」に約1000m遅れて「RED SHARK」、その後「足柄」「智美」が岸よりをアタック、この二艇は岸すぐ近くの南流をつかまえたか「RED SHARK」をきれいに抜いて前に出た。

1530頃より前方の「MISS SUNBIRD」の様子がおかしい、後方の全艇はスピんで8~10ノットで快走しているのに「MISS SUNBIRD」のスピンはだらりと下つて殆んど無風らしい、それでも少しづつ千波崎をかわして行つた。次の艇団も千波崎に近づくとつれ、やはり風がおかしくなり、加えて南下している反流と千

波崎に直接当る本流が激しくぶつかり悪性の潮波を立てその中に入ったレース艇は舵も利かず行動の自由を失い苦戦した。その中で後方より「雲仙」「くろしおⅡ」はスピンをあげてきりこんで先頭集団に入り、「はやまる」「くろしおⅡ」は岸近くのブランケットをさけて沖にコースをとつた。この「MISS SUNBIRD」をのぞいた全レース艇からは「智美」「RED SHARK」「はやまる」「くろしおⅡ」の順でうまく東の風をつかまえて竜王に向つた。

竜王廻航時は大体10～15mのENEが吹きこみ、リーショアをさけて殆どの艇は相当岸を離し北上した。最後の「もさⅢ」が竜王廻航1730。珍しく明るいうちに全艇大島をクリアして大変楽しいレースだつたらしい。

その後、特に風の変化もなく、全艇思い思いのコースを北上、折から月が雲間から姿を見せ、スタート前には考えられない様なすばらしいレース日よりになつた。

## 5 フィニッシュ

「OLYMPUS Ⅲ」からの無線連絡により予想はしていたが、26日2222早くもトップの「MISS SUNBIRD」がフィニッシュ、余りの早さにコミッティボードでは休息のいとまもない有様で、嬉しい悲鳴をあげた。このあとクラスⅡ・Ⅲの殆んどが14時間以内でフィニッシュすると云うスピード振りは、3日間で600哩を走つたと云う「PENDUCK V」の話に刺戟されたせいもあるうか、他方クラスⅣ群も大型艇に余り遅くれずフィニッシュラインに近づいたもののタッチの差で急速に落ちた風に悩まされ、フィニッシュラインを目前に艇足がのびず、新鋭大型艇群に一泡ふかせることが出来なかつたことはさぞかし残念であつたろうと思われる。フィニッシュライン前で「竜王丸」「SUNGO」「だほはぜⅡ」「OLYMPUS Ⅲ」の4艇がデットヒートしたが「SUNGO」の0220フィニッシュによつて全艇無事にレース終了した。

## 6 結 び

乳ヶ崎沖のブローと悪浪のため「だほはぜⅡ」はスピンを破り「はやまる」がメンソールの一部を破損した他は大したトラブルもなくレースを終了したことは幸いであつた。

今回も亦、クラスⅡ・Ⅲの新鋭艇群とクラスⅣとの格差を見せつけられる結果となつ

たが、例えば、夜間フィニッシュの発光信号の打ち方一つにもクラスⅡ・Ⅲ艇は正確であつた処を見ると、彼らの強さの原因が金だけのせいとも云いきれない面もあると云えよう。

終りに原潜寄港等で極めて多忙中にも拘わらず何かとご後援をいただいた海上保安部、懇切な気象情報と注意を与えていただいた気象協会と各測候所、また、無線連絡によりレース状況の把握にご協力いただいた「OLYMPUS Ⅲ」「LOTUS」の皆様、厚くお礼申し上げます。

殊に「OLYMPUS Ⅲ」からは激しいレース中、定時適確な無線連絡をいただきましたが、この受報連絡は人気のない山中の無線局にて、徹夜交信の勞をつくされた落合艇長夫人のご協力によるもので深く感謝申し上げます。

なお、不慣なレースコミッティーに対し皆様のご協力と暖かいご援助を賜わりまことにありがとうございました。

以 上

才 3 回 大 島 回 航 レ ー ス 会 計 報 告

帆走委員長 向 井 七 男 也

収 入

|             |              |           |
|-------------|--------------|-----------|
| 出 艇 申 込 料   | 17 隻 × 2,000 | 34,000 円  |
| 申 込 遅 延 料   | 1 隻          | 2,000     |
| 会 員 参 加 料   | 52 名 × 1,000 | 52,000    |
| 非 会 員 参 加 料 | 8 名 × 3,000  | 24,000    |
| 合 計         |              | 112,000 円 |

支 出

|                          |  |          |
|--------------------------|--|----------|
| 本部運営費 (食費、交通費等)          |  | 20,430 円 |
| 才 1 回艇長会議借室料 (八丈島レースと按分) |  | 900      |
| シーボニア借用料 (会議室、ハーバー)      |  | 5,000    |
| テンドー借用料                  |  | 3,000    |
| 電話料 (特設料金、度数料含まず)        |  | 3,860    |
| 印刷費 (帆走指示書、出艇表等)         |  | 2,000    |
| 消耗品代 (用紙、領収書他)           |  | 310      |
| 合 計                      |  | 35,500 円 |

差 引 残 76,500 円

4 4 . 5 . 7

第3回 大島廻航レース成績表

44. 4. 26

| クラス | セー<br>ル<br>No | 艇<br>名       | T. C. F | オーナ<br>ー | スキッ<br>パー | 所要時<br>間 | 修正時<br>間 | 順位          |        |
|-----|---------------|--------------|---------|----------|-----------|----------|----------|-------------|--------|
|     |               |              |         |          |           |          |          | ク<br>ラ<br>ス | 位<br>合 |
| II  | 380           | MISS SUNBIRD | .829    | 山崎       | 依田        | 12.22.25 | 10.15.27 | ①           | ②      |
|     | 606           | 智美           | .778    | 津野       | "         | 13.43.08 | 10.40.23 | 2           | 7      |
| III | 616           | RED SHARK    | .746    | 関根       | "         | 13.13.58 | 9.52.17  | ①           | ①      |
|     | 617           | 足柄           | .745    | 福永       | "         | 13.55.12 | 10.22.14 | ②           | ③      |
|     | 613           | くろしおII       | .751    | 中島       | 北沢        | 13.54.00 | 10.26.20 | 3           | 4      |
|     | 622           | 雲仙           | .757    | 反田       | 田辺        | 13.59.15 | 10.30.46 | 4           | 5      |
|     | 614           | はやまる         | .751    | 立松       | 武市        | 14.10.00 | 10.38.21 | 5           | 6      |
| IV  | 305           | 竜王丸          | .743    | 森        | 古川        | 16.13.19 | 12.03.10 | 6           | 14     |
|     | 179           | SIRENA       | .706    | 大鏡見      | 村本        | 15.17.30 | 10.47.45 | ①           | 8      |
|     | 366           | もさIII        | .710    | 守屋       | "         | 15.21.01 | 10.53.55 | ②           | 9      |
|     | 618           | だぼはぜII       | .701    | 土屋       | 村瀬        | 16.15.48 | 11.24.02 | 3           | 10     |
|     | 315           | OLYMPUS III  | .700    | 落合       | "         | 16.17.37 | 11.24.19 | 4           | 11     |
|     | 346           | SUNGO        | .701    | 鳥飼       | 須田        | 16.20.06 | 11.27.03 | 5           | 12     |
| 394 | MELUSINE      | .731         | 武部      | "        | 16.13.34  | 11.51.40 | 6        | 13          |        |

天 山 杯-RED SHARK

Ist HOME賞~MISS SUNBIRD

(3) 第19回大島レース経過報告書

帆走委員長 中戸 将治

第19回大島レースは5月24日0800クラスⅣ・Ⅴ、同0900クラスⅡ・Ⅲそれぞれ小網代湾口をスタートした。

スタート時の気象は北東の風5～6mで薄日のさす好レース日よりであつた。スタートに於けるトラブル、危険等を防止する意味で、スタートラインの設定を検討したがクロスホールドのスタートは難しく、やむなくアビームスタートに設置した。風上側は岸側になるため必ずしも有利とはならない位置を選んだが、日中のスタートである事もあつて、全艇スタートライン一つばいに分散し、見事なスタートであつた。

リコー艇はなく数秒の差で全艇がスタートすることができた。クラスⅣ・Ⅴ組では、湾口の大謀網の風下側を「シカ」のみが通過しクラスⅡ・Ⅲ組ではほぼ半数に分かれ、大謀網をかわし、全艇スピンを展開して初島に向つた。艇速は5～6ノットと思われる快調さであつた。

数日来続いた好天気も高気圧の移動と共に東へ去りつゝあつた。梅雨の入りをおぼせる前線が本邦南方海上にあり、西からは小さな低気圧が本州をとりまく型で移動して来ている。

天気予報は天候の下り坂を告げていたし雨になる見通しであつた。その後風はコンスタントに吹いて各艇一団となつて快走しているものと予測し、正午には初島に至るものと見通しを立てる。

1110気象庁は関東地方に低気圧警報の第一報を発令した。これは前日華南にあつた低気圧が発達しながら北東に移動し24日正午石垣島で毎時55ノットを記録した事を報じていた。ラジオの予報では台風なみ(988ミリバール)を表現しているためコミッテイを始め、関係各位ではその進路と風速を注意しつつ待機し電話連絡が刻々と入つた。

1225海上保安庁オペレーションルーム飯野氏より連絡があり「今夜半から明朝にかけて海は荒天になる見込みであるからレースを中止する意向はないか」との問合せがあり、引き続き三管、横須賀より中止したらどうかという問合せがあつた。スタート後のレースの中止は各艇長の判断によることとなつている旨返事す。

海上保安庁としては巡視船「しきね」によりレース出場中の全艇（25艇）に今夜からの荒天に充分注意する様連絡し、レースを中止するよう各艇に勧告する意向である旨の連絡であつた。いつもながらの海上保安庁の配慮に感謝しつつ、コミッティも全員非常事態のウォッチに入り、気象通報、天気予報、TEL連絡等々に当つた。

推定により12時～1時には全艇初島を回航し、大島に向つているものと思われ、大島竜王崎は17時前後と思われたのでその間に「しきね」の勧告があるものと予測した。ヨット無線局へ再々TEL連絡したが連絡がとれず、1700TEL連絡が入り「サルモンⅡ」リタイヤし小網代に帰航中、「さがみⅡ」レース続行中の連絡が入つた。

1715「しきね」よりTEL連絡606、609の艇の間合せが入り、それぞれ乳ヶ崎沖、岡田沖帆走中の連絡が入る。

1815「彩雲」岡田港より連絡が入り、リタイヤを告げてきた。

1820「くろしおⅡ」稲取港に入港リタイヤの連絡、「くろしおⅡ」の連絡によれば「アオレレⅡ」逆方向に帆走してるので、リタイヤではないかと思うとの報告であつた。

結果的にはこの四艇がリタイヤした事になつたが「しきね」の注意により早々と安全に避難した事は艇の状況、位置、気象の変化を予測して判断した事と思われる。海にあつては常に先手、先手と行動する事が要求されるのでこれも又正しい判断であり処置であると思う。その他の艇も艇長は低気圧の移動の速度、艇の位置、フィニッシュ時間等々の検討をしつつ帆走したものと思われる。

航跡図によるレース展開は1126「メルジーネ」が早々と初島を回航し、クラスⅣ・Ⅴは全艇1200までに初島を回り大島に向つた。引続き一団となつてクラスⅡ・Ⅲが回航した。風向、風力はほぼ変わらず大島迄のコースもスピンの展開となつた模様である。

大島レースの難しさ、面白さは今年も現われ、直線的に大島にとりついた艇は潮と、大島のブランクットによる無風地帯、時間的に発生する風力の低下等々に悩まされ、無風地帯を早く脱出した艇が良く走つた様であり、大島に近寄らず沖を廻つた艇が有利である結果になつた。

1700スタート1時間の差を初島～大島間でつめたクラスⅡ・Ⅲがトップグループとなり「ミスサンバード」がトップで竜王崎をかわし、クラスⅣ・Ⅲ・Ⅱ入りみだれて力走

した。全艇視界の明るい内に大島をかわし最後の直線コースに入った。この頃より風や、東にふれ、ほとんど直線のフリーコースで小網代目ざしてレースが展開された。

2030 コミッテイポートを設置し、ゴールラインで準備する。

2042 リコール艇「サモンⅡ」入港しレース状況の報告があつた。記録的な早さでレースが展開され、低気圧の移動と競争の型であつたが、まったくの驚くべきスピードで全艇フィニッシュに向つていた。

2230 「ミスサンバード」フィニッシュ、13h30m29sと過去19年間の記録を一気に大巾に短縮した。引続き初出場のダークホースである「竜王」が18分の差で飛び込み、圧倒的なスピードでフィニッシュ、総合クラスの優勝をさらつた。引続き各艇続々と記録を更新しつゝ全艇新記録でフィニッシュ、最終艇0308「リンバスⅢ」をもってレースは終了した。全艇5時間たらずの間にフィニッシュしたが雨の中をゴールラインや計時処理の混乱もなく無事レースを終了する事が出来たのは今回より使用できたトランシーバーと、コンピューター処理の威力であり、関係各位に深く感謝したい。

### 第19回大島レース会計報告書

帆走委員長 中戸 将 治

| 収 入                |            |          |
|--------------------|------------|----------|
| 出 艇 申 込 料          | 31隻×2,000  | 62,000円  |
| 申 込 遅 延 料          | 3隻×2,000   | 6,000    |
| 会 員 参 加 料          | 104名×1,000 | 104,000  |
| 非 会 員 参 加 料        | 12名×3,000  | 36,000   |
| 合 計                |            | 208,000円 |
| 支 出                |            |          |
| 本部運営費(食費、交通費等)     |            | 17,645円  |
| 第1回艇長会議借室料         |            | 2,400    |
| シーボニア借用料(会議室、ハーバー) |            | 5,000    |
| テンダー借用料            |            | 3,000    |
| 電話料(特設料金共)         |            | 6,000    |
| 印刷費(帆走指示書、出艇表、表紙等) |            | 2,000    |
| 消耗品代(ガソリン、電池)      |            | 2,840    |
| 雑 費                |            | 1,000    |
| 合 計                |            | 39,885円  |
| 差 引 残              | 168,115円   |          |

第 1 9 回 大 島 レ ー ス 成 績 表

4. 5. 2 4 ~ 2 5

| クラス | セーラーNo | 艇名           | T.C. F | オーナー      | 艇長       | 所要時間 (E. T) | 修正時間 (C. T)     | ク | 順 | 位          |
|-----|--------|--------------|--------|-----------|----------|-------------|-----------------|---|---|------------|
|     |        |              |        |           |          |             |                 | ラ | ス | 総          |
|     |        |              |        |           |          |             |                 | ク |   | 合          |
| II  | 358    | 潮風 III       | . 781  | 竹下        | "        | 14. 17. 43  | 11. 09. 52      | ① |   | ③          |
| II  | 380    | MISS SUNBIRD | . 829  | 山崎        | "        | 13. 30. 29  | 11. 11. 53      | ② |   | 4          |
| II  | 188    | CONTESSA II  | . 771  | 石原        | "        | 14. 30. 15  | 11. 17. 55      | 3 |   | 5          |
| II  | 606    | 智美           | . 778  | 津野        | "        | 14. 31. 36  | 11. 18. 06      | 4 |   | 6          |
| III | 600    | 竜王           | . 767  | 陳         | "        | 13. 48. 38  | 10. 35. 33      | ① |   | ①          |
| III | 614    | はやまる         | . 751  | 立松        | 山下       | 14. 24. 37  | 10. 50. 11      | ② |   | ②          |
| III | 617    | 足柄           | . 745  | 福永        | "        | 15. 57. 32  | 11. 53. 21      | ③ |   | 1 2        |
| III | 610    | 飛車角 II       | . 762  | 名和        | 周東       | 15. 46. 31  | 12. 01. 01      | 4 |   | 1 4        |
| III | 615    | 天城           | . 752  | 渡辺        | 星        | 16. 06. 58  | 12. 07. 09      | 5 |   | 1 5        |
| III | 341    | SEA WITCH    | . 738  | KING      | MOULTON  | 16. 46. 27  | 12. 22. 45      | 6 |   | 1 7        |
| III | 323    | CHRISTINA II | . 771  | 福山        | "        | 16. 25. 34  | 12. 39. 52      | 7 |   | 1 9        |
| III | 164    | さがみ II       | . 741  | 飯島        | "        | 17. 34. 41  | 13. 1. 31       | 8 |   | 2 0        |
| IV  | 179    | SIRENA       | . 706  | 大饑見       | "        | 16. 01. 28  | 11. 18. 47      | ① |   | 1 7        |
| IV  | 394    | MELUSINE     | . 731  | 武部        | 金指       | 15. 43. 46  | 11. 29. 53      | ② |   | 8          |
| IV  | 618    | だぼはぜ II      | . 701  | 土屋        | "        | 16. 46. 36  | 11. 45. 37      | ③ |   | 9          |
| IV  | 608    | 明日香          | . 702  | 加藤        | "        | 16. 47. 32  | 11. 47. 17      | 4 |   | 1 0        |
| IV  | 374    | 高麗           | . 704  | 方         | "        | 16. 47. 51  | 11. 49. 31      | 5 |   | 1 1        |
| IV  | 381    | 八丈 III       | . 709  | 近藤        | "        | 16. 52. 47  | 11. 58. 03      | 6 |   | 1 3        |
| IV  | 366    | もさ飛          | . 710  | 守屋        | 吉田       | 17. 10. 20  | 12. 11. 32      | 7 |   | 1 6        |
| IV  | 629    | 竜飛           | . 707  | 岩瀬        | 堀口       | 17. 32. 33  | 12. 24. 09      | 8 |   | 1 8        |
| IV  | 315    | OLYMPUS III  | . 700  | 落合        | "        | 19. 08. 31  | 13. 23. 57      | 9 |   | 2 1        |
| III | 613    | くろしお II      |        | 中島        | D. N. F. | 総合          | 「竜王」 SILVER CUP |   |   | 及び読売杯      |
| III | 199    | SALMON II    |        | 富永        | "        |             |                 |   |   |            |
| IV  | 360    | AOLELE II    |        | 向井        | "        | FIRST HOME  | [MISS SUNBIRD]  |   |   | フアースト ホーム賞 |
| V   | 609    | 彩雲           |        | 田         | "        |             |                 |   |   |            |
| DNS |        | 雲仙           |        | RED SHARK | 竜王丸      | NADJA II    | 桜江              |   |   | SUNGO      |

#### (4) サマーシリーズ開催について

本年度前期スプリング・シリーズレースは多数の参加を得て盛大に終了致し、いよいよ後期ポイント・レースをサマー・シリーズレースとして7月より行います。

本年度より採用しました、クラス別順位決定、賞杯授与等のレース方式は、引続き適用しますが、今回のシリーズより、それに加えて新たに参加艇の建造年度を基準として“クラスA”部門を設け、古い艇にも健闘入賞の機会を開きました。明細は下記の通りですが季節も夏であり、新艇旧艇を問わず大型艇も小型艇も、ベテランも新人も振って参加下さるよう期待します。

##### 1. レース開催日

7月6日 8月10日 9月7日

##### 2. 賞

###### A) クラス別

レースの順位は、各クラス（I・II・III・IV・V）ごとに決め、3レースの総合得点により賞杯が授与されます。

賞の数は、各クラスごとの出場艇数により、下表の如く定めます。

###### B) 総合

シリーズ3レースの総合得点により、クラスII・IIIの1位より3位迄、及びクラスIV・Vの1位より3位迄にNORCよりウィニング・フラグが授与されます。更にクラスII・IIIの1位及びIV・Vの1位には、チャレンヂ・カップが出る予定です。

###### C) “クラスA”（新企画）

レース参加艇のうち建造年月が1966年1月1日以前の艇は上記A)及びB)の採点对照となるのに加えて、自動的に、“クラスA”部門参加艇として、同部門参加艇のみによる得点順位が与えられ賞杯が授与されます。順位はクラスIIよりVまで各艇の公式T・C・F.による所要時間により総合で決定されます。但し、上記A)及びB)に入賞した艇は、自動的に“クラスA”部門及順位から除かれ賞の対象になりません。

|        |      |         |      |
|--------|------|---------|------|
| 出艇数    | 賞(位) | 出艇数     | 賞(位) |
| 2 ~ 3  | 1    | 12 ~ 19 | 4    |
| 4 ~ 6  | 2    | 20 ~ 32 | 5    |
| 7 ~ 11 | 3    | 32 ~    | 6    |

〔注〕 関東支部では「八丈」(No.381)が1965年12月の進水ですので、「八丈」以前に建造された艇がクラスAとなります。なお、セーラーNo.381以降の艇でも建造月日が「八丈」以前の場合もありますので、オーナーはそれぞれ建造月日を確認の上コミッティーにお知らせ下さい。

3. 各レースの得点は、下表によるものとします。

|    |    |    |    |    |    |   |   |
|----|----|----|----|----|----|---|---|
| 順位 | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6 | 7 |
| 得点 | 23 | 19 | 16 | 13 | 11 | 9 | 7 |

|    |   |   |    |    |     |     |     |
|----|---|---|----|----|-----|-----|-----|
| 順位 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12~ | DNF | DNS |
| 得点 | 6 | 5 | 4  | 3  | 2   | 1   | 0   |

#### 4. 出場資格

A) NORCレース規則によりますが、乗員は3名以上とします。

B) レース規則に定める必要な資格を持たない艇でも、出艇料を納入すれば、レース艇としてレース海面をレース艇と同様に帆走出来ます。ただし、これらの艇は、得点及び賞の対象にはなりません。

#### 5. レース規則

レース規則及び、帆走指示書(艇長会議のとき渡します)によります。

#### 6. 出艇申し込みと艇長会議

出艇申告 ~ レース前日 2030 ~ 2100 於油壺ヨッテル

艇長会議 ~ レース前日 2100 ~ 2200 於 同 上

出艇料 ~ 1艇2,000円とし、出艇申告の際に納入して下さい。

なお、納入した出艇料はレース中止の場合でも返還しません。

#### 7. スタート

クラスⅣ・Ⅴ 0900 小網代湾口 (ラジオ時報による)

Ⅱ・Ⅲ 0910 同上 (コミッティーボート上5分前にP旗を掲げ、スタート時刻にP旗を降す) (コースの如何にかかわらず)

#### 8. コース

(1) 小網代 ~ 葉山 ~ 江の島 ~ 小網代

(2) 小網代 ~ 江の島 ~ 葉山 ~ 小網代

(3) 小網代 ~ 葉山 ~ 小網代

(4) 小網代 ~ 江の島 ~ 小網代

9. 荒天の際は、帆走委員長の決定により、レースを中止することがあります。

10. 各シリーズの表彰式及びパーティーは、9月7日にレース終了後行ないます。

11. レースの実施は、レース委員会及び、各レースの帆走委員長が行ないますが、レースの運営については、相模湾ポイントレース運営委員会 (委員長森村謙二氏) が帆走委員長を補佐して運営に当たります。

各レースの帆走委員担当は下記の通りです。

7月 「クリスティーナⅡ」

8月 「智 美」

9月 「飛車角Ⅱ」

### Ⅲ 東海支部

#### 1. 会議の状況

4月3日 支部例会

#### 議 題

(1) 「東海支部運営規則」制定について

(2) 造船懇話会開催結果報告

(3) アマチュア無線協会・村上氏より、アマチュア無線についての講話

(4) 佐々木会員より「チタⅢ」との交信状態について

5月9日 支部常任委員会

#### 議 題

- (1) 「外洋帆走の夕」開催に関する件
- (2) 「白雲」「チタⅢ」壮行会打合せ
- (3) 小牧救難航空隊見学報告

5月26日 支部常任委員会

議 題 「外洋帆走の夕」開催打合せ

## 2. 支部主催レース入賞艇

伊勢湾レース入賞艇（4月6日実施）

- 1位 「アヤ」
- 2位 「ネービー・ブルーⅡ」
- 3位 「エビキュリアンⅠ」

浜島レース入賞艇（5月3日実施）

- 1位 「クリーダ」
- 2位 「アヤ」
- 3位 「ネービー・ブルーⅡ」

## 3. 造船懇話会

東海支部では安全・計測・泊地・軽クルーザー等、当面の諸問題について東海地区ヨットセールメーカーに現状ならびにNORCの方針を説明し、協力を要請する為、4月2日東海銀行主税町クラブで第1回造船懇話会を開催した。

当日、地区ヨット・セールメーカー側は、ツボイヨット・三河造船等9社が参集した。

#### 主な懇談事項

- (1) ヨット受注時、安全備品の必要性についてメーカーからもオーナーによく説明すること。
- (2) 計測手続上、図面がなくて非常に困る場合が多い。

メーカー側と設計者が打合せて、設計図を一部オーナーに渡すようにする。

(3) 国産技術向上のため、輸入ヨット、部品等についてできるだけ研究の機会をつくるよう NORCでも努力してほしい。

(4) 泊地問題について両者ともさらに研究すること。

#### 4. 小牧救難航空隊見学

支部安全委員会では4月19日、航空自衛隊小牧救難航空隊を訪れ、航空機の洋上遭難に対する安全装備を救難法ならびにわが国の救難体制—航空自衛隊、海上自衛隊、海上保安庁の担当区分、協力関係などにつき見学説明を受けた。

#### 5. 「白雲」「チタⅢ」壮行会

5月15日ミヤコホテル地下近鉄飯店において、5月29日衣浦港から世界一周に出帆した自作艇「白雲」と、トランス・パックスレースに参加の為5月31日空路ロスアンゼルスへ向つた「チタⅢ」のメンバーの壮行会を行つた。

#### 6. 「外洋帆走の夕べ」

5月27日愛知県中小企業センターにおいて、NORC創立5周年を記念して「外洋帆走の夕べ」を、東海海運局、英国大使館、朝日新聞社の後援により開催したところ、約700名程が雨をついて参加し、また本部、関東支部、京都支部よりの参加もあり盛会であつた。

1830主催者挨拶、来賓の海洋詩人・丸山薫氏の祝辞ののち、「マーメイド」「コーラサ」「チタⅡ」等の設計者である横山晃氏による「外洋ヨット太平洋横断」についての講演つづいて、大儀見専務理事による、チチエスター卿についての説明ののち、英国大使館提供チチエスター卿の大西洋単独横断レースの参加記録映画「大西洋の冒険」が上映され、2030白雲グループによる航海計画発表があり無事終了した。

#### 7. 「白雲」世界一周に出帆

世界一周を目指す武豊フリート所属の自作艇「白雲」（36呎艇長榑原伊三）はNORC

会員および地元の人達約1,000人に見送られ5月29日衣浦港中央埠頭から出帆し約2年間総航程26.475海里の航海の途についた、なお出帆の状況はNHKTVがスタジオ102で放送した。

#### 「白雲」航海予定表

|     |       |           |
|-----|-------|-----------|
| 44年 | 5月29日 | 衣浦発       |
| "   | 7月上旬  | ロスアンゼルス着  |
| 45年 | 4月上旬  | パナマ着      |
| "   | 6月上旬  | レシーフ着     |
| "   | 6月下旬  | リオデジャネイロ着 |
| "   | 10月上旬 | ケープタウン着   |
| 46年 | 1月上旬  | フリーマントル着  |
| "   | 2月上旬  | シドニー着     |
| "   | 2月下旬  | ブリスベーン着   |
| "   | 6月上旬  | 衣浦着       |

## IV 京都支部

### 1. 艇の登録

(1) №718「タム・タムⅡ」 オーナー 田村正男

5月23日、横浜岡本造船所で進水

L. O. A'. 7.49m 熊沢時寛設計でオーナーの好みを色々と細部に工夫した跡の見られるアコモデーションのアウトスタンディングなポート。

(2) №719「ジブシイ・クイーン」 オーナー 脇尾誠一

小豆島 岡崎造船株式会社建造

L. O. A. 7.49m 横山晃設計 小艇としては十分なチャートテーブルとギャレイにシーゴーアらしい留意を感じるオーソドックスなポート。

## 2. 新入会員

特別会員 №61 勝尾 誠一  
正会員 №62 同 トシイ  
準会員 №63 同 武司

住所 奈良市登美ヶ丘二丁目1-19

電 0742-45-0766

## 3. 艇の動行

№703「マリリア」 オーナー 京都ヨットクラブ

7月20日-8月中旬 会員諸氏で日本海の航海、若狭和田-佐渡島を廻ります。

№716「ジョーカー」 オーナー 玉舎輝彦

6月下旬 太平洋岸へ艇を廻し附近をクルージングそのあと鳥羽レースに参加。

№719「ジブシー・クイーン」 オーナー 勝尾 誠一

6月中旬 愛知県蒲郡へ廻し、7月20日まで航海仕法の練習を主として遠州灘、熊野灘で行い、鳥羽レースに参加、その後、紀伊水道を通過、瀬戸内海を下り8月下旬別府入港と75日間を走り廻ります。

## 4. レース結果

4月27日 沖ノ島レース

5月18日 多景島レース

a 艇長会議 出席者無し

b 出艇料未納

c 44年度会費未納

d 航跡図提出無し

で両レース共成立しませんでした。

## V 内 海 支 部

### 1. ランデブー

5月3日は五月晴れの良いクルージング日和であつた。淡路島西浦・江井港を目指して、大阪湾から、瀬戸内海から、和歌山から、クルーザーが、三三五五と集まつて来た。その数は三十五隻を数え、江井の人達は、今迄見たこともない、大型のヨットや、数多いヨットに驚き且つ大いに歓迎してくれた。これが、69年度のランデブウの幕開けであつた。

1300の開会のときには、ヨットに乗つて来たメンバー、陸路フェリーボートで来たメンバー・連絡船で時間ぎりぎりに来たメンバーを加えると72名に達した。

大会は司会樽谷博氏によつて、会場の旅館・寒伝館の大広間で開かれた。先づ大会委員長の谷川晴彦氏の挨拶に続き、NORC内海支部長・秋田博正氏の「内海のヨット界が年々盛大になり、ミネルバⅢのホンコンマニラレースの入賞等世界的水準に達しようとする努力されているのには敬服している。今後益々盛んになることを念願すると同時に、安全第一、事故を絶対に起さない心構えを常に持つていて欲しい」と挨拶された。次いでレース担当部長合田氏より、今年度のレースの方針（前号記事参照）を説明したあと、和歌山レース帆走委員長谷川晴彦・洲本レース帆走委員長浜永裕・大阪湾横断レース帆走委員長武田良夫・高松レース帆走委員長塚本修・播磨灘レース帆走委員長神村正弘の各氏を紹介し、各委員長より、レースの説明があつた。事務局長津田氏より、会費の変更、値上げはやむをえない事情なのだから、了承して欲しい旨の要請があり、計測担当部長の松木先生より、レーティングの説明、続いて地元町会議員・漁業組会長の暖かい支援を感謝し、寒伝館主人の好意により、盛大なランデブウが行われたこと祝し、乾杯し、宴を終えた。この席に、新しいメンバーがずい分参加し、会員の申込みについての問合せが多かつたことは喜ばしい事でした。谷川担当部長の御苦勞によるものと感謝します。

合 田 督 記

## Ⅵ 西内海支部

### 1. 別府レース報告

例年は夏の行事としていた別府レースを、今年は5月の連休を利用し実施しました。

8月中旬は風に恵まれる事が少なく、又折角の休日は墓参等で参加出来ないと言う事で、役員会及び4月のランデブウの際の相談の結果、5月に決定したわけです。

5月3日夕方6時山口県柳井市平郡島西浦港に参加艇集結で下の7艇が勢ぞろいしました。

|   |         |       |     |        |           |
|---|---------|-------|-----|--------|-----------|
| 1 | 「フォルテ」  | 浅川喜雄  | 外1名 | 別府フリート | 5m JOG    |
| 2 | 「サボー」   | 松野亘秀  | 外1名 | "      | 5m JOG    |
| 3 | 「勝山」    | 余田実   | 外3名 | 松山フリート | 22' JOG   |
| 4 | 「ミネルバⅢ」 | 湯浅良男  | 外4名 | 西宮フリート | 36' ヨール   |
| 5 | 「牛若丸Ⅱ」  | 生野雄一郎 | 外3名 | 別府フリート | 23' JOG   |
| 6 | 「ユニティ」  | 伊藤武夫  | 外3名 | 広島フリート | 20.5' JOG |
| 7 | 「やしろ」   | 田中敬一  | 外6名 | "      | 33' スループ  |

西浦港に面したひなびた旅館「小村」にて親睦会及び艇長会議を行いました。NORC京都支部の井上正春氏を来賓として総勢29名夕食を共にしました。別府レースは西内海支部では東西、広島松山別府フリートの唯一の交歓の場となるので重要な行事であるわけです。新鮮な海の幸と広島的美酒で面白い話や自己紹介やよも山話の花が咲きました。2200の気象通報により天気図を作製し、艇長会議に入り「ミネルバⅢ」の風力計で15m/sec内外の風を記録し、又別府湾の風も相当にある状況でした。井上正春氏外各艇長及びアマチュア気象学者等の意見で、4日0000のスタートを延期し0600西浦一八島間のポイントレースを行つて散会と云う事に決定しました。4日0500頃になり昨夜の予想に反して風はS4~5m/secに落ちていました。

空の雲はちぎれちぎれて東へ飛んでいました。06005m JOG「フォルテ・サボー」、0605「牛若丸Ⅱ」、「勝山」、「ユニティ」、0610「ミネルバ」、「やしろ」それぞれスタートして一路八島へ向いましたが、0800頃風がなく一同ゆらりゆらり海上でゆられて0900ついにノーレースを宣しました。長く行くと各艇ホームポートへの帰着困難になるため、この様な結末になりました。

した。0910各艇思い思いのホームポートへ散つて行きました。

尚最後になりましたが、このレースに京都からわざわざ参加して頂いた井上正春氏ならびに2回も速方より参加して頂いた「ミネバⅢ」の若い皆様にも、西内海支部として厚く御礼を申しておきます。

## 2. 連絡事項

今年は西内海支部としては艇の登録を完全にし、関係書類を整備したいと思います。

新艇が出来ましたらすぐ登録して下さい、セール番号も西内海は800～899まであります。又艇の名義人（特別会員）が変り、又艇の売買があつた場合は、相当の手續をして頂かなければなりません。なお不明の点は事務局の方へ御連絡下さい。

## Ⅶ 会員及び登録艇

### 1. 会員及び登録艇の現状

昭和44年6月1日現在

|       | 特別会員 | 正会員 | 準会員 | TOTAL | 登録艇 |
|-------|------|-----|-----|-------|-----|
| 関東支部  | 152  | 485 | 55  | 692   | 156 |
| 東海支部  | 29   | 90  | 6   | 125   | 31  |
| 京都支部  | 17   | 26  | 6   | 49    | 16  |
| 内海支部  | 38   | 76  | 24  | 138   | 38  |
| 西内海支部 | 14   | 36  | 0   | 50    | 9   |
| TOTAL | 250  | 713 | 91  | 1,054 | 250 |

2. 会員の異動

(a) 新入会員

| 会員 No  | 氏名      | 住所 (TEL)                          | 勤務先 (TEL)                          | フリート  | 所属艇                   |
|--------|---------|-----------------------------------|------------------------------------|-------|-----------------------|
|        | (特別会員)  |                                   |                                    |       |                       |
| 69-044 | 尾崎 良盛   | 神奈川県川崎市井田杉山町442<br>(045) 401-9661 | 明治生命相互保険 神奈川県川崎市<br>(045) 401-9661 | シーボニア | (648)<br>ENAMORADA    |
| 69-059 | 加藤 武    | 静岡県沼津市三枚橋平町18-16                  | 東芝機械株式会社 沼津<br>62-5240             | 沼津    | (653)<br>NOVIA II     |
| 69-060 | 佐藤 允五郎  | 東京都大田区千鳥2-7-8 (57) 1272           | 毎日新聞東京本社印刷部 (2) 0321               | 油壺    | (314)<br>とらふぐ         |
| 69-070 | 長谷川 喜一郎 | " 目黒区東ヶ丘1-5-2 (421) 7224          | 榊長谷川歯車 (734) 1141                  | シーボニア | (651)<br>C I M A      |
| 69-074 | 吉田 昭    | " 江東区東砂町7-1-24 (645) 0009         | 佐々木木型工業 (646) 4841~2               | 諸磯    | (655)<br>ODIN III     |
| 69-081 | 蛭名 毅    | " 世田谷区上野毛1-8-2 (701) 0031         | 東急不動産 営業部                          | 小網代   | (652)<br>ALEXANDRA II |
| 69-082 | 伊藤 哲郎   | " 中野区大和町4-29-3 (337) 7777         | 三菱商事 鉄鋼才一部厚板課<br>(211) 0211        | シーボニア | (654)<br>BARBA ROSSA  |
| 69-095 | 小泉 節哉   | 神奈川県川崎市東田町5-1-1<br>(044) 24-1251  | 文学堂書店 (044) 24-1251                | "     | (658)<br>M I S A      |
| 69-096 | 熊沢 時寛   | " 横浜市中区小港町1-9<br>(045) -6221-1075 | 横浜ポート街 三河造船所<br>(21) 2157          | 小網代   | (656)<br>こぐま          |
| 69-097 | 斎藤 茂夫   | 東京都町田市中町3-17-24 (42) 1721         | 写真業 (42) 1721                      | 諸磯    | (661)<br>OKERA        |
|        | (正会員)   |                                   |                                    |       |                       |
| 69-043 | 古河内 千尋  | 神奈川県横浜市西区麓ヶ丘84<br>(045) 241-3821  | 横山造船設計事務所                          | シーボニア | J O U R               |

| 会 員 No. | 氏 名       | 住 所 (T. E. L.)                     | 勤 務 先 (T. E. L.)                           | フリート      | 所 属 艇           |
|---------|-----------|------------------------------------|--------------------------------------------|-----------|-----------------|
| 69-045  | 崎 山 克 彦   | 東京都杉並区上荻4-14-35<br>(399) 7700      | 講談社インターナショナル(942)1111 内669                 | 小網代       | 八 丈             |
| 69-046  | 藤 原 博     | 神奈川県横浜市南区蒔田公園住宅7-505               | 日本住宅公団企画用地部<br>(265) 2111 内448             | "         | S U N G O       |
| 69-047  | 相 川 友 弥   | 東京都江戸川区松島4-33-2 (651) 4107         | " (265) 2211                               | "         | "               |
| 69-048  | 安 木 邦 貴   | " 大田区池上4-26-10 (751) 4493          | 日本大学 (在学)                                  | "         | 桜 工             |
| 69-049  | 沢 田 芳 治   | 千葉県船橋市前原3-723 (0474) 72-2076       | "                                          | "         | "               |
| 69-050  | 石 井 正 行   | 東京都豊島区高松3-2 (956) 1344             | 中 井 研 (270) 1311                           | "         | NEPTUNE X       |
| 69-051  | 田 畑 道 子   | " 品川区東五反田5-2-12 (441) 5733         |                                            | 油 壺       | A O L E L E I I |
| 69-053  | 貝 沼 勉 彦   | " 渋谷区上原2-25-13 飯田方<br>(467) 8013   | 明治学院大学 (在学)                                | "         | は や ま る         |
| 69-054  | 山 崎 繁 生   | " 文京区関口2-6-10 (941) 2053           | S. B 食品研 (668) 0551                        | シー<br>ボニア | MISS SUNBIRD    |
| 69-055  | 高 木 佐 代 子 | " 台東区浅草1-28-3 (841) 4323           |                                            | "         | "               |
| 69-056  | 奥 敏       | " 三鷹市牟礼6-24-35 自啓寮                 | 日本無線研 究 部 考 三 研 究 課<br>(0422) 44-9111 内493 | 油 壺       | 潮 風 III         |
| 69-057  | 奥 田 文 典   | " 文京区西片2-16-16 永田方                 | 日本証券経済研究所資料室<br>(669) 0737~9               | 小網代       | 飛 車 角 II        |
| 69-058  | 河 村 雅 美   | 神奈川県横須賀市速水1-10                     | 防衛大学 (在学)                                  | シー<br>ボニア | S A M O A I     |
| 69-061  | 菊 地 陸 典 雄 | 東京都文京区湯島1-5-45<br>東京医科歯科大内         | 自家営業                                       | "         | 竜 王             |
| 69-062  | 羽 柴 宏 昭   | 神奈川県横須賀市坂本町2-24<br>(0468) 24-0377  | 横須賀市役所下水道工事課<br>(0468) 22-4000             | "         | S A M O A I     |
| 69-063  | 栗 原 章     | 東京都渋谷区広尾5-19-1 (473) 0693          | 日本大学 (在学)                                  | 小網代       | 桜 工             |
| 69-064  | 佐 藤 武 夫   | 東京都北多摩郡狛江市和泉3566<br>(0424) 84-7219 | 慶応義塾大学 (在学)                                | 油 壺       | T O N G A       |

| 会 員 番 号 | 氏 名       | 住 所 (T E L)                            | 勤 務 先 (T E L)                       | フ リ ー ト      | 所 属 艇        |
|---------|-----------|----------------------------------------|-------------------------------------|--------------|--------------|
| 69-065  | 広 谷 忠 彦   | 千葉県船橋市前原西4-9-8 明倫館内                    | 千葉大学 (在学)                           | 小網代          | くろしお II      |
| 69-068  | 桑波田 捷 彦   | 東京都港区元麻布 3-9-11(408) 5611              | 大日日本電線工事部 (044) 2-7571~5            | 小網代          | 工            |
| 69-069  | 川 島 茂     | " 練馬区北町2-20-6 (933) 0475               | 日本大学 (在学)                           | 油 壺          | は や ま る      |
| 69-071  | 姉 崎 昭 義   | 神奈川県横浜市鶴見区鶴見町1 4 6 9<br>(045) 511-0516 | 東栄貿易㈱ (253) 1301                    | シ ー<br>ボ ー 了 | RED SHARK    |
| 69-072  | 坂 東 陽 一 郎 | 東京都杉並区東田町1-47 (311) 1317               | 成蹊大学 (在学)                           | 油 壺          | お う り ゆ う    |
| 69-073  | 関 建 治     | 東京都渋谷区東3-2-9 (400) 3795                | ヒ ー ロ ー 電 機 ㈱ (251) 8431            | 小網代          | 八 丈          |
| 69-075  | 横 川 博 行   | " 杉並区下高井戸1-1 4 3<br>(303) 7190         | 日本鋳業㈱金属加工営業部<br>(582) 2111          | "            | KELONIA II   |
| 69-076  | 高 橋 忠 好   | " 杉並区天沼2-39-13 (392) 3598              | 東京電力㈱銀座支店<br>(567) 7211 内391        | シ ー<br>ボ ー 了 | 竜 飛          |
| 69-077  | 有 田 耕 二   | " 目黒区階番2-18-3 松本方                      | 東京大学 (在学)                           | "            | MISS SUNBIRD |
| 69-079  | 三 船 清 治   | 神奈川県横浜須賀市舟倉町880<br>(0468) 41-1351      | 加藤ポ ー ト 工 業 (41) 1351               | "            | "            |
| 69-080  | 杉 下 一 彦   | 東京都目黒区柿ノ木坂2-5-3 山崎方<br>(718) 1584      | 明治学院大学 (在学)                         | "            | "            |
| 69-083  | 橋 本 毅     | 神奈川県川崎市上丸子天神町382<br>(044) 72-7093      | 三菱商事㈱輸送機部航空機才二課<br>(211) 0211 内3684 | "            | BARBA ROSSA  |
| 69-084  | 増 井 宗 男   | 東京都大田区仲六郷2-14-6 (734) 3691             | 日本大学 (在学)                           | 油 壺          | MELUSINE     |
| 69-085  | 斎 藤 賢 二   | 千葉県佐原市佐原 4-2-31                        | 大洋食鳥㈱ (0472) 41-0311                | 小網代          | SALMON II    |
| 69-086  | 藤 原 保 夫   | 東京都世田谷区代田2-29-8 (414) 5519             | 日本大学 (在学)                           | "            | 工            |
| 69-087  | 本 橋 一 男   | 千葉県東葛飾区鎌ヶ谷町道野辺468-22                   | 日本出版販売㈱才一販売部都内書籍課<br>(293) 2111     | 油 壺          | だ ぼ は ぜ II   |
| 69-090  | 亀 井 幾     | 東京都豊島区千早町1-30 (957) 2289               | 海上自衛隊                               | シ ー<br>ボ ー 了 | S A M O A I  |

| 会員 No       | 氏名            | 住所 (TEL)                                     | 勤務先 (TEL)                            | フリート  | 所属艇             |
|-------------|---------------|----------------------------------------------|--------------------------------------|-------|-----------------|
| 69-091      | 神橋哲郎          | 神奈川県横須賀市走水1-10-20<br>防衛大学校522 (0468) 41-3819 | 防衛大学 (在学)                            | シーボニア | SAMOA I         |
| 69-092      | 由水雅通          | 東京都練馬区小竹町1-51 (955) 0174                     | 日野自動車工業(株)輸出部販売三課<br>(272) 8012      | "     | そよかぜ            |
| 69-093      | 酒井直樹          | 神奈川県横浜市戸塚区舞岡町73<br>(045) 822-4810            | 立教大学 (在学)                            | 小網代   | 竜王              |
| 69-094      | 田口蕃           | " 葉山扇区内秋谷543056-8518<br>(0468)               | 御松屋 (567) 1211                       | 油壺    | FLAMINGO II     |
| 69-098      | 高村基治<br>(準会員) | " 川崎市観音2-160味の素(株)観音町寮<br>(044) 26-2859      | 味の素(株)中央研究所食品研究部才2課<br>(044) 24-1111 | "     | NOA-NOA II      |
| 69-052      | 神谷健一          | 東京都小平市花小金井南町3-6 (0424) 64-0715               | 成蹊大学 (在学)                            | 油壺    | LOTUS           |
| 69-066      | 鈴木俊昭          | " 三鷹市上連雀920 (0422) 44-8840                   | 武蔵工業大学 (在学)                          |       |                 |
| 69-067      | 池田隆           | " 大田区上池台4-44-2 (720) 2282                    | " (在学)                               |       |                 |
| 69-078      | 花形泉           | " 豊島区西巢鴨3-648 (918) 2989                     | 明治学院大学 (在学)                          | シーボニア | MISS<br>SUNBIRD |
| 69-088      | 平田和広          | " 新宿区上落合1-27-9白金了パー<br>(209) 1928            | 成蹊大学 (在学)                            | 油壺    | CHRISTINA II    |
| 69-089      | 佐々木研一         | " " 本塩町10四ツ谷コーポラス31<br>(351) 4305            | " (在学)                               | "     | "               |
| 内海支部<br>138 | ◎三田善美         | 香川県高松市木太町2533<br>(0878) 61-1219              | 四国自動車教習所 (0878) 61-1218              |       | (528)<br>しらみね   |

| 東海支部 | 氏名     | 住所                                | トヨタブヅリカ中京研半田営業所                      | 衣浦  | TORTLE       |
|------|--------|-----------------------------------|--------------------------------------|-----|--------------|
| 148  | 小林 克昌  | 愛知県半田市住吉町8-33<br>(0569) 21-1780   | トヨタブヅリカ中京研半田営業所                      | 衣浦  | TORTLE       |
| 149  | 小林 義彦  | " " 亀崎町10-1 (0569) 28-0025        | 小林歯科医院                               | "   | EPICUREAN II |
| 150  | ◎市川 勇  | 蒲郡市栄町5-3                          | 蒲郡竹島観光桝                              | 三河湾 | うらなみ         |
| 151  | 新美 春光  | 半田市広小坂町43 (0569) 21-3195          | 大俊建設 (0569) 21-3195                  | 衣浦  | 白雲           |
| 152  | 高須 洪吉  | " " 岩滑東町5-144                     | 佐島マリーナ                               | "   | "            |
| 153  | 石垣 羊一  | " " 勘内町9                          | 榎杉治商会                                | "   | "            |
| 154  | 竹内 冷治郎 | " " 更生町2-132                      | 角田工作所                                | "   | Y A          |
| 155  | 木村 武司  | " " 有楽町1-17 (0569) 21-7802        | 名古屋トヨベツト南営業所<br>(052) 661-1501       | "   | "            |
| 156  | 杉浦 護   | " " 南本町1-14 ( " ) 21-0245         | 篠田、川口建築事務所才二設計<br>(052) 962-7581     | "   | "            |
| 157  | 土井 一之  | " " 栄町4-44 (0569) 21-4099         | 成岩米穀店 (0569) 21-1832                 | "   | "            |
| 158  | 榎原 祥夫  | " " 岩滑高山町2-58<br>(0569) 21-4462   | 大信精機設備課 (0569) 21-4311               | "   | "            |
| 159  | 久野 義光  | " " 亀崎常盤町3-2<br>(0569) 28-1302    | ホウトク金属物輸出課 (052) 201-4101            | "   | TORTLE       |
| 160  | 久世 忠明  | 名古屋市昭和区鎌田町2-1<br>(052) 871-4861   | 大同メタル工業(株)石工、生産技術課<br>(052) 913-1161 | 鬼崎  | LUNA III     |
| 161  | 古橋 武生  | " " 中区七本松町1-80<br>(052) 321-6840  | 榎後建設事務所 (052) 711-4185               | "   | 零            |
| 162  | 岡田 正弘  | 碧海郡知立町知立新町34-27<br>(0566) 81-0711 | 名城大学建築科才八研究室<br>(052) 832-1151       | "   | "            |
| 163  | 小田 高大  | 名古屋市中村区香取町2-53<br>(052) 412-3920  | 小田内科、小児科 (052) 412-3920              | 三河湾 | いぶき          |
| 164  | 内田 建也  | " " 南区松下町3-1<br>(052) 611-2701    | 石川島播磨重工業(株)二課 (052) 611-8111         | 鬼崎  | LYRA         |
| 165  | 山本 鉄哉  | " " 熱田区野立町3-20                    | 大同メタル工業(株)名工、生産技術課<br>(052) 913-1161 | "   | LUNA III     |

| 会 員 № | 氏 名     | 住 所 (TEL)                          | 勤 務 先 (TEL)                           | フリート | 所 属 団 体              |
|-------|---------|------------------------------------|---------------------------------------|------|----------------------|
| 166   | 福 田 義 人 | 愛知県名古屋市中北区鳩岡町1-1<br>志賀住宅34-203号    | 中部日本新聞社様報部電送課<br>(201) 8811 内510      |      |                      |
| 167   | 山 田 邦 彦 | " 名古屋市中区小幡中日喜多山寮<br>(791) 2678     | 中部日本新聞社印刷局組版部 (201) 8811<br>内 472     |      |                      |
| 西内海支部 |         |                                    |                                       |      |                      |
| 55    | 田 中 敏 昭 | 広島県広島市本町1-2-8 (32) 0128            | 株式会社清次郎商店 (32) 0128                   | 広島   | やしろ                  |
| 56    | 後 成 勲 夫 | " 呉市広町両谷1192広本アパート                 | 中国工業研究所調査課                            | 松山   | 勝山                   |
| 57    | 佐 沢 忠 昭 | 山口県吉敷郡阿須賀町若山産業区内                   | 若山産業株式会社工場製造課<br>(阿須賀) 222            | "    | "                    |
| 58    | 杉 田 義 久 | 広島県呉市古川町53<br>石川島播磨重工業株式会社三古川寮     | 石川島播磨重工業株式会社造船所第一工場<br>(0823) 22-5151 | "    | "                    |
| 京都支部  |         |                                    |                                       |      |                      |
| 61    | ◎脇尾 誠 一 | 奈良県奈良市登美ヶ丘2-1-19<br>(0742) 45-0766 | 株式会社サンダヤ (06) 211-0396                | ビワコ  | (719)<br>GYPSY QUEEN |
| 62    | 脇尾 トシイ  | " " "                              |                                       | "    | "                    |
| 63    | △脇尾 武 司 | " " "                              |                                       | "    | "                    |

## (b) 住所又は勤務先変更

| 会 員 No  | 氏 名                 | 新 住 所                         |
|---------|---------------------|-------------------------------|
| 関 東 支 部 |                     |                               |
|         | (特別会員)              |                               |
| 68-903  | 本 座 栄 一             | 埼玉県浦和市中尾842 古庄方               |
| 68-969  | 松 尾 治 亘             | 東京都杉並区成宗3-561                 |
| 4433    | 鈴 木 礼 三             | // 港区白金4-10-18白金 マンション 404号   |
| 7755    | 江 畑 一 路             | // 目黒区目黒本町1-15-23三井本町アパート303号 |
|         | (正 会 員)             |                               |
| 6674    | 麻 生 雅 幸             | 東京都三鷹市牟礼2-14 27-501           |
| 7816    | EDWIN P. SEAVER III | 東京都港区高輪2-1-15伊皿子アパート405号      |
| 0062    | 福 田 義 一             | 東京都杉並区東田町2-156                |
| 6683    | 一 色 忠 之             | 愛知県名古屋市中千種区光ヶ丘ソニー光ヶ丘寮         |
| 1204    | 河 原 昭 三             | 神奈川県三浦市三崎町小網代219              |
| 69-059  | 加 藤 武               | 静岡県沼津市平町181-16                |
| 5099    | 清 水 栄 太 郎           | 東京都文京区音羽町2-1-20               |
| 5524    | 鈴 木 英 也             | // 港区三田4-13-16 梶方             |
| 6627    | 沢 山 昇               | 兵庫県姫路市野里字川田124                |
| 1227    | 吉 田 秀               | 宮城県仙台市原町小田原中八合1-1 A08-404     |
| 69-0882 | 山 下 新 平             | 東京都目黒区青葉台3-15-3               |
| 7807    | 下河辺 明               | // 世田谷区上野毛1-19-1 メゾン上野毛701    |
| 68-964  | 笠 原 貞 夫             | 神奈川県川崎市四谷上町187 味の素オース         |
|         | (準 会 員)             |                               |
| 68-991  | 桂 大 介               | 神奈川県鎌倉市稲村ヶ崎4-9-17             |
| 内 海 支 部 |                     |                               |
| 12      | 山 内 信 夫             | 大阪市天王寺区上本町7-34 公団上本町アパート613号  |

| 会 員 No. | 氏 名     | 新 住 所                  |
|---------|---------|------------------------|
| 19      | 竹 村 健 一 | 兵庫県芦屋市翠ヶ丘21-8          |
| 21      | 猪 上 忠 彦 | " 加古川市平岡町二俣 石原造船社宅102号 |
| 34      | 松 岡 敏   | " 高松市花宮町2-3-3          |
| 86      | 岸 田 敬 三 | 大阪府羽曳野市伊賀537           |
| 92      | ◎木村 治 愛 | " 八尾市山本町南7-163         |
| 東 海 支 部 |         |                        |
| 11      | ◎大木 英 男 | 愛知県知多郡知多町大草字大瀬20-1     |
| 13      | 野 沢 淳 二 | " 名古屋市千種区若竹町1-39 ゆたか荘  |
| 19      | 村 松 省 吾 | " " 昭和区荒田町4-3          |
| 20      | 浅 井 欣 也 | " " 守山区小幡北屋敷1 県営住宅F-16 |
| 31      | 小 島 基 作 | 東京都杉並区本天沼3-38-12       |
| 109     | 野 畑 義 彦 | 愛知県愛知郡横須賀町大字養父字八ヶ池3    |
| 146     | 山 田 弥 一 | " 名古屋市港区魁町3-21         |

(c) 会員間の異動

| 支 部 名                   | 会 員 No. | 氏 名             | 所 属 艇          |
|-------------------------|---------|-----------------|----------------|
| ( 特 別 会 員 よ り 正 会 員 へ ) |         |                 |                |
| 関 東 支 部                 | 7746    | 福 山 美 晴         | CHRISTINA II   |
| "                       | 5025    | P. R. G A I N E | WHITE CREST II |
| "                       | 6690    | 大 矢 武 信         | とらふぐ           |
| "                       | 7766    | 柴 田 義 明         | 桜 I            |
| "                       | 68-0885 | 山 下 直           | NOA - NOA      |
| "                       | 69-025  | 本 間 武 男         | P U F F        |
| 東 海 支 部                 | 33      | 白 戸 健           | 那 岐            |

| 支 部 名        | 会 員 No  | 氏 名       | 所 属 艇            |
|--------------|---------|-----------|------------------|
| 内 海 支 部      | 86      | 岸 田 敬 三   | ホ シ ケ            |
| (正会員より特別会員へ) |         |           |                  |
| 関 東 支 部      | 68-0889 | 小 林 和 茂   | (602)桜 工         |
| "            | 68-0881 | 宮 沢 英 夫   | (650)VEGA III    |
| "            | 68-0887 | 富 田 潔     | (178)NOA-NOA     |
| 内 海 支 部      | 61      | 本 荘 輝 夫   | (526)HINEMOSS II |
| 東 海 支 部      | 96      | 服 部 一 男   | タ レ ッ ト          |
| "            | 104     | 成 田 郡 司   | (234)YOSHICO     |
| (準会員より正会員へ)  |         |           |                  |
| 関 東 支 部      | 68-0975 | 秋 岡 康 夫   | MELUSINE         |
| "            | 6702    | 五 十 嵐 研 自 | 智 美              |
| "            | 7843    | 宮 沢 満     | OLYMPUS III      |
| "            | 7872    | 根 元 紀 一   | CONTESSA II      |
| "            | 7749    | 鈴 木 厚 次   | DAMO I           |
| "            | 68-0931 | 館 沢 英 市   | 智 美              |
| 内 海 支 部      | 21      | 猪 上 忠 彦   | ドノドロ I           |
| 西 内 海 支 部    | 19      | 頼 田 昭     | や し ろ            |

### 3. 新登録艇の紹介

| 支部 | セー<br>ル<br>No | 艇 名          | RIG | クラス | LOA×LWL×B×d                   | オーナー                     | フリート      |
|----|---------------|--------------|-----|-----|-------------------------------|--------------------------|-----------|
| 関東 | 642           | KELONIA II   | S   | IV  | 7.490×6.100×2.300×1.550       | 西 村 真                    | 小網代       |
|    | 648           | ENAMORADA    | "   | V   | 6.310×5.500×2.000×1.300       | 尾 崎 良 盛                  | シー<br>ボニア |
|    | 649           | MARGARET     | "   | "   | 6.500×5.400×2.040×1.400       | 宇都宮 道 春                  | 横 浜       |
|    | 650           | VEGA III     | "   | IV  | 7.490×6.100×2.300×1.550       | 宮 沢 英 夫<br>(VEGA, Y. O.) | 葉 山       |
|    | 651           | C I M A      | "   | "   | 24' 00"×19' 20"×7' 90"×4' 00" | 長谷川 喜一郎                  | シー<br>ボニア |
|    | 652           | ALEXANDRA II | "   | V   | 6.500×5.400×2.040×1.400       | 姥 名 毅                    | 小網代       |

| 支部  | セール<br>No. | 艇名           | RIG       | クラス | L O A × L W L × B × d         | オーナー                | フリート                |
|-----|------------|--------------|-----------|-----|-------------------------------|---------------------|---------------------|
| 関東  | 653        | NOVIA II     | S         | N   | 7300×5800×2100×1400           | 加藤 武                | (沼津)                |
|     | 654        | BARBA ROSSA  | "         | N   | 24' 11"×20' 00"×7' 60"×5' 00" | 伊藤 哲郎               | シー<br>ボニア           |
|     | 655        | ODIN III     | "         | V   | 6500×5400×2040×1400           | 吉田 昭                | 諸磯                  |
|     | 656        | こくま          | "         | N   | 7240×4900×2020×1400           | 熊沢 時寛               | シー<br>ボニア           |
|     | 657        | AKU-AKU II   | "         | V   | 6500×5400×2040×1400           | 坂崎 静馬               | (佐島)                |
|     | 658        | M I S A      | "         | V   | 6500×5400×2040×1400           | 小泉 節哉               | シー<br>ボニア           |
|     | 659        | J U N        | "         | N   | 24' 11"×20' 00"×7' 60"×5' 00" | 菊池 淳二               | (大湊)                |
|     | 660        | CYCLONE II   | "         | N   | 7490×6100×2300×1550           | 土肥 由夫               | シー<br>ボニア           |
|     | 661        | OKERA        | "         | N   | 7000×5450×2300×1350           | 斎藤 茂夫               | 諸磯                  |
|     | 東海         | 237          | BUCCANEER | "   | III                           | 8610×6700×2510×1600 | 日比正光<br>(BUCCANEER) |
| 238 |            | EPIPUREAN II | "         | III | 9390×7340×2700×1750           | 神原 嘉男               | 衣浦                  |
| 240 |            | P U F F      | "         | N   | 6850×5250×2260×1200           |                     |                     |
| 241 |            | いぶき          | "         | V   | 5500×4800×2000×0900           | 小田 高大               | 三谷                  |
| 京都  | 718        | TAM-TAM II   | "         | N   | 7450×6300×2500×1250           | 田村 正男               | ピワコ                 |
|     | 719        | GYPSYQUEEN   | "         | N   | 7490×6143×2300×1500           | 脇尾 誠一               | ピワコ                 |
| 内海  | 526        | HINE MOSS II | "         | III | 29' 80"×24' 60"×9' 40"×5' 20" | 本荘 輝夫               | 西宮                  |
|     | 527        | 茅 亭          | "         | N   | 7480×5800×1900×1250           | 額川 三郎               | 西宮                  |
|     | 528        | しらなみ         | "         | V   | 5800×5100×2000×1380           | 三田 善美               | 高松                  |

## あ　と　が　き

シーズン中のシーズンともいうべきときを迎えて、太平洋横断レースをはじめ、「チタⅢ」「白雲」と七ツの海を目ざして大飛躍をする艇もぞくぞくと現われて、ニュースも輻輳し、興味ある記事がズラリと並びました。恐らく会員の皆様のご満足を得らるることと思います。

また今回は各支部からも揃って投稿下さいましたので、歯の抜けたようなニュースにならず安心いたしました。厚くお礼申し上げます。今後も〆切日だけは厳守していただき、よりよきニュースにいたしたいと考えています。何卒ご協力のほどお願いいたします。

次の〆切は8月31日であります。

(高村記)